２０２３年度

講　義　要　項

社会福祉学科

西日本短期大学

社会福祉学科　1年次開講科目

区分	授業科目	開講期	ナンバリング	担当者(●：実務家教員)			
基礎	心理学	前期	3-B1SR01	城戸　由香里			
基礎	総合演習ⅠA	前期	3-B1SR02	古賀　啓之	一山　幸子	川井　小百合	●山本　恭大
				田邉　伸一	●山本　恭大		
基礎	総合演習ⅠB	後期	3-B1FR03	折居　明日香	中野　幹子	一山　幸子	●山本　恭大
				田邉　伸一	●山本　恭大	古賀　啓之	
基礎	英語Ⅰ	前期	3-B1SE04	西村　紀子			
基礎	英語Ⅱ	後期	3-B1FE05	西村　紀子			
基礎	茶道文化Ⅰ	前期	3-B1SE06	池末　愛香			
基礎	茶道文化Ⅱ	後期	3-B1FE07	池末　愛香			
専門	社会福祉概論A	前期	3-S1SE01	●山本　恭大			
専門	社会福祉概論B	後期	3-S1FE02	田邉　伸一			
専門	障害の理解	後期	3-S1FR03	川井　小百合			
専門	障害者福祉論	後期	3-S1FR04	一山　幸子			
専門	認知症A	前期	3-S1SR05	折居　明日香			
専門	認知症B	後期	3-S1FE06	折居　明日香			
専門	人体構造と疾病A	前期	3-S1SE07	小車　淑子			
専門	人体構造と疾病B	前期	3-S1SE08	中野　幹子			
専門	人体構造と疾病C	後期	3-S1FE09	中野　幹子			
専門	介護の基本Ⅰ	前期	3-S1SR10	川井　小百合			
専門	介護の基本Ⅱ	前期	3-S1SR11	一山　幸子			
専門	コミュニケーション技術A	前期	3-S1SE12	川井　小百合			
専門	コミュニケーション技術B	後期	3-S1FE13	古賀　啓之			
専門	生活支援技術(移動A)	前期	3-S1SE14	古賀　啓之	田邉　伸一		
専門	生活支援技術(移動B)	後期	3-S1FE15	田邉　伸一	●山本　恭大		
専門	生活支援技術(環境)	前期	3-S1SE16	古賀　啓之	折居　明日香		
専門	生活支援技術(食事)	後期	3-S1FE17	古賀　啓之	●山本　恭大		
専門	生活支援技術(ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ)	後期	3-S1FE18	●山本　恭大			
専門	介護過程Ⅰ	後期	3-S1FE19	川井　小百合	折居　明日香		
専門	実習指導A	前期	3-S1SE20	田邉　伸一	川井　小百合	古賀　啓之	
専門	実習指導B	後期	3-S1FE21	折居　明日香	中野　幹子	一山　幸子	●山本　恭大
				田邉　伸一	●山本　恭大	古賀　啓之	
専門	介護実習	通年	3-S1YE22	中野　幹子	一山　幸子	川井　小百合	●山本　恭大
				田邉　伸一	●山本　恭大	古賀　啓之	
専門	芸術療法	後期	3-S1FE23	眞弓　真由美	米倉　裕子	中野　幹子	
専門	コンピュータ演習	前期	3-S1SE24	●山本　恭大	古賀　啓之		
専門	介護の基礎Ⅰ	前期	3-S1SE25	永吉　美知子			
専門	介護の基礎Ⅱ	後期	3-S1FE26	●田中　優子			

社会福祉学科　2年次開講科目

区分	授業科目	開講期	ナンバリング	担当者(●：実務家教員)			
基礎	社会福祉援助論	後期	3-B2FE01	一山　幸子			
基礎	社会福祉援助技術	前期	3-B2SR02	一山　幸子			
基礎	高齢者健康学	前期	3-B2SE03	城戸　由香里			
専門	発達と老化の理解	後期	3-S2FE01	城戸　由香里			
専門	チームマネジメント論	後期	3-S2FE02	中野　幹子			
専門	介護の基本Ⅲ	前期	3-S2SE03	川井　小百合			
専門	介護の基本Ⅳ	前期	3-S2SE04	一山　幸子	川井　小百合	田邉　伸一	
専門	介護の基本Ⅴ	後期	3-S2FE05	折居　明日香	田邉　伸一	●山本　恭大	
専門	障害児支援論	後期	3-S2FE06	●後藤　宏			
専門	家政学演習	後期	3-S2FR07	伊勢木　紀三子			
専門	生活支援技術(清潔)	前期	3-S2SE08	田邉　伸一	●山本　恭大		
専門	生活支援技術(排泄)	前期	3-S2SE09	●山本　恭大	古賀　啓之		
専門	生活支援技術(家事・終末期)	前期	3-S2SE10	折居　明日香			
専門	生活支援技術(総論)	後期	3-S2FE11	中野　幹子			
専門	介護過程ⅡA	前期	3-S2SE12	川井　小百合	中野　幹子	一山　幸子	●山本　恭大
				田邉　伸一	●山本　恭大	古賀　啓之	
専門	介護過程ⅡB	後期	3-S2FE13	川井　小百合	一山　幸子	折居　明日香	古賀　啓之
				●山本　恭大	古賀　啓之		
専門	医療的ケアA	前期	3-S2SE14	小車　淑子			
専門	医療的ケアB	前期	3-S2SE15	中野　幹子			
専門	医療的ケアC	後期	3-S2FE16	小車　淑子	中野　幹子		
専門	国家試験特講A	後期	3-S2FE17	一山　幸子			
専門	国家試験特講B	後期	3-S2FE18	●田中　優子			
専門	介護実習	通年	3-S2YE19	中野　幹子	一山　幸子	川井　小百合	●山本　恭大
				田邉　伸一	●山本　恭大	古賀　啓之	
専門	障害児・者スポーツ論	後期	3-S2FE20	高木　富士男			
専門	障害児・者スポーツ演習	後期	3-S2FE21	●東嵩西　謡平			
専門	園芸福祉	後期	3-S2FE22	山本　俊光			
専門	手話	前期	3-S2SE23	福田　九			
専門	癒しのケア	前期	3-S2SE24	●安藤　美彌子	外園　裕美		
専門	介護の基礎Ⅲ	前期	3-S2SE25	古賀　さと子			

＜ナンバリングについて＞

カリキュラムの体系性を示すため、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表したものです。

■学科コード　1 ビジネス法学科　2 緑地環境学科　3 社会福祉学科　4 保育学科
5 健康スポーツコミュニケーション学科　6 メディア・プロモーション学科

■科目区分　B 基礎科目　S 専門科目　P 実務科目　Q 資格科目

■開講期　1 一年次科目　2 二年次科目
S 前期科目　F 後期科目　Y 通年科目

■必修・選択　R 必修　E 選択

■科目ナンバー　二桁の数字

（例）「心理学」の場合

学科コード	科目区分	開講期	必修・選択	科目ナンバー
3	B	1S	R	01

1 年 前 期

《基礎科目》

科目名	心理学				
担当者氏名	城戸　由香里				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
授業のはじめに、前回学習した要点の小テストと答え合わせを行う。当該授業では、予習として学生が熟読してきた 教科書の内容を配布プリントにて、要点、理解の確認を行う。さらに理解を深めるために、様々な例を用い、必要に応じて、生徒間のグループワークを行う。授業の最後に、授業開始時に行った小テストのプリントを提出する。

《授業の到達目標》
心理学における基本的な人間の欲求を列記できる。脳のしくみ及び認知、学習、記憶、思考、感情・情動が説明できる。ストレスなどに対する適応を例を挙げ、様々な適応方法を列挙できる。睡眠・休息のしくみを述べることができる。「死」についてのこころの理解ができる。総合的に、高齢者、障がい者への人権について述べることができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%　レポート10　%
課題　なし　実技　なし
授業の取組　10%
その他　なし

《教科書》
介護福祉士養成講座11

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
15回目の総括確認テスト前に、特に間違えやすいところについての授業内復習を行う。毎回の小テストの間違えを正し、教科書、配布プリントなどで復習を行う。

《成績評価基準》
毎回の小テストの結果及び、授業への積極的参加（発表など）を評価する。15回目の総括確認テストにて、各項目のキーワードやその意味の確認を行い（90点）総合的な理解は記述式の回答により評価する（10点）。

《参考図書》
配布プリント

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	健康とは	教科書p1～8を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
2	人間の欲求と自己実現	教科書p14～18を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
3	自己実現と尊厳	教科書p19～23を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
4	こころのしくみの基礎（脳）	教科書p24～27を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
5	こころのしくみの基礎（認知）	教科書p28を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
6	こころのしくみの基礎（学習）	教科書p28～29を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
7	こころのしくみの基礎（記憶）	教科書p29～30を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
8	こころのしくみの基礎（思考）	教科書p30～32を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
9	こころのしくみの基礎（感情・情動）	教科書p32～33を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
10	こころのしくみの基礎（意欲・動機づけ）	教科書p33～34を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
11	こころのしくみの基礎（適応）	教科書p35～37を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
12	休息と睡眠	教科書p240～249を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
13	心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響	教科書p250～257を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
14	「死」に対するこころの理解	教科書p275～281を熟読（90分）・次回の小テストの準備（90分）
15	総括・確認テスト	1～14回の総復習（90分）・総括、確認テストの復習（90分）

《基礎科目》

科目名	総合演習ＩＡ				
担当者氏名	古賀　啓之、一山　幸子、川井　小百合、折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
体験学習等への参加により、実習施設への理解を深め、介護実践の科学的探究を目指した指導を行う。

《教科書》
必要に応じてプリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業での課題・提出物は確認後、必要に応じて個別に指導を行う。

《授業の到達目標》
①新しい生活環境へ適応し、変化に対する円滑な対応と、豊かな人間性・高い倫理観を養うことができる。
②実習を振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けて統合・深化させるとともに、自己の課題を明確にし専門職としての態度を身に付けることができる。

《成績評価基準》
①②授業授業内容に応じたレポートの記述・提出、授業中の取り組み姿勢

《成績評価の方法》
筆記試験　％　レポート　５０％
課題　％　実技　％
授業の取組　５０％
その他（　　）　％

《参考図書》
なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己紹介・役員選出	予習内容　自分が担当したい役割について考える　３０分 復習内容　科目の目的・内容についてまとめる　３０分
2	１・２年生合同レクリエーション	予習内容　レクリエーションの内容について確認し、準備しておく　３０分 復習内容　レクリエーションの感想をまとめる　３０分
3	１・２年生合同レクリエーション	予習内容　レクリエーションの内容について確認し、準備しておく　３０分 復習内容　レクリエーションの感想をまとめる　３０分
4	担当教員面談	予習内容　自分の学習状況や進路について考え、まとめる　３０分 復習内容　面談を振り返り、内容をまとめる　３０分
5	担当教員面談	予習内容　自分の学習状況や進路について考え、まとめる　３０分 復習内容　面談を振り返り、内容をまとめる　３０分
6	メンタルヘルス講習	予習内容　メンタルヘルスとは何か調べる　３０分 復習内容　講習の内容についてまとめる　３０分
7	施設見学準備	予習内容　施設の方と接する際のマナーや言葉遣いについて調べる　３０分 復習内容　見学の際の質問をまとめる　３０分
8	施設見学(介護実践に必要な技術・知識の統合)	予習内容　見学する施設について調べる　３０分 復習内容　見学で学んだことをまとめる　３０分
9	施設見学(介護実践に必要な技術・知識の統合)	予習内容　見学する施設について調べる　３０分 復習内容　見学で学んだことをまとめる　３０分
10	お礼状作成	予習内容　実習の振り返り　３０分 復習内容　授業内容の振り返り　３０分
11	担当教員面談	予習内容　自分の学習状況や進路について考え、まとめる　３０分 復習内容　面談を振り返り、内容をまとめる　３０分
12	担当教員面談	予習内容　自分の学習状況や進路について考え、まとめる　３０分 復習内容　面談を振り返り、内容をまとめる　３０分
13	実習施設ガイダンス(介護実践の科学的探究)	予習内容　施設種別について復習する　３０分 復習内容　施設ごとの取り組みや、特徴についてまとめる　３０分
14	実習施設ガイダンス(介護実践の科学的探究)	予習内容　施設種別について復習する　３０分 復習内容　施設ごとの取り組みや、特徴についてまとめる　３０分
15	まとめ	予習内容　全体の授業においての疑問や分からない点をまとめる　３０分 復習内容　全体の授業についての振り返り　３０分

《基礎科目》

科目名	英語Ⅰ				
担当者氏名	西村　紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
基礎文法を学び、英文法の知識を再確認する。
日常会話でよく使う「文型」を多く挙げ、英語の表現に親しんでいく。
毎回語彙テストを行い、語彙や熟語を増やすことを心掛け、TOEICや英検などの資格試験の取得も視野に入れて取り組む。

《授業の到達目標》
中学までに学んだ基礎的な文法や語彙を確認し、同時に日常会話に必要な表現も身につけ、総合的に学習を進める。
英語力に必要な基本的文法構造を学び習得し、基礎的語学力を身につける。

《成績評価の方法》
筆記試験 30%　レポート　-%
課題　-%　実技　-%
授業の取組　35%
その他（提出物）35%

《教科書》
プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《成績評価基準》
授業で学習した基礎的な文法を理解しているか。
日常会話に必要な表現が身についているか。
基本的文法構造を理解し、読む書く聞く話すの4技能につなげられているか。

《参考図書》
「英会話の基本文型８７」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	英文構造について	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
2	品詞について　Be動詞	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
3	一般動詞	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
4	一般動詞とBe動詞の区別、応用練習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
5	時制（現在、過去、現在・過去進行形）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
6	時制（現在、過去、現在・過去進行形）演習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
7	文の種類（肯定文、否定文、疑問文）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
8	文の種類（肯定文、否定文、疑問文）演習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
9	疑問詞を使う疑問文	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
10	疑問詞を使う疑問文演習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
11	接続詞を使った英作文①	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
12	接続詞を使った会話文②	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
13	頻度の高い動詞句（希望、予定、強制）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
14	練習、前期学習内容の総復習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
15	前期学習内容の理解確認	復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）

《基礎科目》

科目名	茶道文化Ⅰ				
担当者氏名	池末　愛香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
【介護福祉士選択】
実技を主とする
１．立ち居振る舞いなど、日常生活での作法を身につける
２．周囲への心配りができ、感謝する心を身につける
３．盆略点前ができるようになる

《教科書》
帛紗セット

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業終了後にレポートを作成し、次の授業までに提出する

《授業の到達目標》
和室での所作ができるようになる
茶室のしつらえ、道具のとりあわせ等から季節の移り変わりを
感じとることができる
思いやりを持って、互いに尊重しあうことができる
感謝を込めて、一服のお茶をいただくことができる

《成績評価基準》
授業への取り組み方
レポートの内容
所作・点前の習得度

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　30%
課題　%　実技　30%
授業の取組　40%
その他（　　）　%

《参考図書》
『裏千家茶道』　監修・裏千家今日庵
制作・一般財団法人　今日庵

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 立ち居振る舞い	予習内容　シラバスを読む(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
2	お辞儀 襖の開け閉め	予習内容　所作を確認する(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
3	帛紗・扇子の扱い	予習内容　所作を確認する(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
4	茶室での所作	予習内容　所作を確認する(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
5	客の心得 席入り	予習内容　所作を確認する(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
6	客の心得 薄茶・菓子のいただき方	予習内容　所作を確認する(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
7	帛紗さばき 道具の清め方	予習内容　所作を確認する(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
8	帛紗さばき 茶筅通し、茶巾の扱い	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
9	茶筅通し 茶碗の清めかた	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
10	盆略点前(前半)	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
11	盆略点前(後半)	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
12	盆略点前	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
13	茶花	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
14	運び薄茶点前(風炉)	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
15	総括	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　授業の復習(30分)

《専門科目》

科目名	社会福祉概論Ａ				
担当者氏名	山本　恭大				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識、および社会保障の制度・施策についての基礎
的な知識を身につけることを目的とする。

《授業の到達目標》
地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識、および社会保障の制度・施策についての基礎
的な知識を身につけることを目的とする。

《成績評価の方法》
まとめ　80%
課題　10%
授業の取組　10%

《教科書》
『社会の理解』（中央法規）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業中に課したミニテストは、採点し原則、次の授業で返却する。
授業中に課したレポート課題は提出後、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》
筆記試験：授業の全範囲を対象とした筆記試験を行う。教科書の章ごとにミニテストで理解度を確認する。
レポート：各単元ごとに、理解度を確認するためのレポート課題を課す。
授業の取組：授業中の私語や居眠りに対しては減点する。
（レポートやミニテストはウェブを使用する場合がある。）

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	社会と生活のしくみ （オリエンテーション）	予習：教科書全体に目を通す（1時間） 復習：ノートの取り方等次週以降の準備（1時間）
2	社会と生活のしくみ ライフスタイルの変化	予習：ライフスタイルについて考える（2時間） 復習：ライフスタイルについてまとめる（2時間）
3	社会と生活のしくみ 家族の機能と役割	予習：家族について考える（2時間） 復習：家族についてまとめる（2時間）
4	社会と生活のしくみ 社会・組織の機能と役割	予習：組織について考える（2時間） 復習：組織についてまとめる（2時間）
5	社会と生活のしくみ 生活支援（ミニテスト）	予習：1章についてまとめる（2時間） 復習：ミニテストをまとめる（2時間）
6	地域共生社会の実現に向けた制度や施策	予習：地域福祉について考える（2時間） 復習：地域福祉についてまとめる（2時間）
7	地域共生	予習：地域共生について考える（2時間） 復習：地域共生についてまとめる（2時間
8	地域包括ケア	予習：地域包括ケアについて考える（2時間） 復習：地域包括ケアについてまとめる（2時間
9	社会保障とは何か	予習：身の回りの社会保障について考える（2時間） 復習：身の回りの社会保障についてまとめる（2時間）
10	日本の社会保障の歴史 （その１）	予習：社会保障の歴史について考える（2時間） 復習：社会保障の歴史についてまとめる（2時間）
11	日本の社会保障の歴史 （その２）	予習：社会保障の歴史について考える（2時間） 復習：社会保障の歴史についてまとめる（2時間）
12	社会保障制度のしくみ （その１）	予習：社会保障制度について考える（2時間） 復習：社会保障制度についてまとめる（2時間）
13	社会保障制度のしくみ （その２）	予習：社会保障制度について考える（2時間） 復習：社会保障制度についてまとめる（2時間）
14	現代の社会保障制度 （ミニテスト）	予習：現代の社会保障制度について考える（2時間） 復習：ミニテストについてまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：これまでのミニテストのおさらい（2時間） 復習：これまでの授業をまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	認知症Ａ				
担当者氏名	折居　明日香				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
医学的側面から認知症の疾患や原因などの基礎的知識および、認知症の方の生活を支えるという観点から、認知症の症状に伴う心理的変化や影響について学ぶ。
この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

①医学的・心理的側面から認知症の原因となる疾患および症状に応じた心身の変化や心理的影響を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を理解することができる。
②認知症の診断や治療、予防いついて認知症ケアの基礎として、医学的側面に沿った知識を理解することができる。
③認知症ケアの歴史や理念を含む、認知症を取り巻く社会的環境について理解し、説明することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験　　60%
レポート　　10%
授業の取組　10%
その他（小テスト）20%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・小テストを実施しフィードバックとして、解説の時間を設ける。
・授業中に課したレポートは、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

①定期試験および小テストで認知症に関する基礎知識について6割以上解答できる。
②③
講義中の講義中の質問への解答、認知症に関する基礎知識についてレポートで考えをまとめ説明することができる。

《参考図書》

最新　介護福祉士養成講座13
「認知症の理解」　中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 認知症の定義	予習：シラバスを確認する。認知症の定義について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
2	医学的・心理的側面の基礎的理解①	予習：脳のしくみについて調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
3	医学的・心理的側面の基礎的理解②	予習：中核症状について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
4	医学的・心理的側面の基礎的理解③	予習：BPSDについて調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
5	医学的・心理的側面の基礎的理解④	予習：アルツハイマー型認知症について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
6	医学的・心理的側面の基礎的理解⑤	予習：血管性認知症について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
7	医学的・心理的側面の基礎的理解⑥	予習：レビー小体型認知症について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
8	医学的・心理的側面の基礎的理解⑦	予習：前頭側頭型認知症について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
9	授業の振り返り （小テスト）	予習：前半の講義内容を振り返る。また、疑問・質問点を挙げておく（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
10	医学的・心理的側面の基礎的理解⑧	予習：認知症の診断や治療薬について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
11	医学的・心理的側面の基礎的理解⑨	予習：認知症の予防について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
12	認知症を取り巻く状況①	予習：認知症のケアの歴史と理念について調べる。 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
13	認知症を取り巻く状況②	予習：認知症ケアにおける社会の取り組みについて調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
14	授業の振り返り （小テスト）	予習：後半の講義内容を振り返る。また、疑問・質問点を挙げておく（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
15	本授業のまとめ	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。（2時間） 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる。（2時間）

《専門科目》

科目名	人体構造と疾病Ａ				
担当者氏名	小車　淑子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護が必要な人の生活を支援するために必要となる
人体のしくみや働きについて学ぶ。
パワーポイントを使用して、講義を進める。
科学的な根拠づけをもって、考えながら支援できるように、
生活支援技術と結び付けて学んでいく。

《授業の到達目標》
①「睡眠」「食事」に関連したこころとからだのしくみ、機能低下が生活に及ぼす影響、変化の気づきと対応について、理解し説明することができる。
②「死」に関する定義、こころとからだの変化、医療職との連携や死にゆく人の心理について、説明することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%
授業の取組　20%

《教科書》
①最新介護福祉養成講座11　こころとからだのしくみ
　介護福祉士養成講座編集委員会　中央法規
②PPプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
単元ごとに復習小テストを実施し、解説する

《成績評価基準》
筆記試験を実施し授業内容の理解度と、授業への取り組みを評価する。

《参考図書》
①介護福祉士国家試験模擬問題集
　介護福祉士国家試験受験対策研究会編集　中央法規

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 休息・睡眠のしくみ	教科書ｐ240～242　（2時間）・配布プリント（2時間）
2	睡眠に関連したこころとからだのしくみ	教科書ｐ242～249　（2時間）・配布プリント（2時間）
3	心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響	教科書ｐ250～257　（2時間）・配布プリント（2時間）
4	変化に気づくためのポイント	教科書ｐ258～261　（2時間）・配布プリント（2時間）
5	小テスト①（睡眠） 課題解説	教科書ｐ240～257　（2時間）・配布プリント（2時間）
6	食事に関連したこころとからだのしくみ栄養	教科書ｐ148～150　（2時間）・配布プリント（2時間）
7	摂食と嚥下運動	教科書ｐ151～153　（2時間）・配布プリント（2時間）
8	治療食・心身の機能低下が食事に及ぼす影響	教科書ｐ153～162　（2時間）・配布プリント（2時間）
9	変化の気づきと対応	教科書ｐ163～169　（2時間）・配布プリント（2時間）
10	小テスト②（食事）	教科書ｐ148～169　（2時間）・配布プリント（2時間）
11	死にゆく人に関連したしくみ	教科書ｐ264～274　（2時間）・配布プリント（2時間）
12	死」に対する心の理解	教科書ｐ275～282　（2時間）・配布プリント（2時間）
13	終末期から危篤状態 死後の体の理解・連携	教科書ｐ282～299　（2時間）・配布プリント（2時間）
14	小テスト③（終末期）	教科書ｐ264～299　（2時間）・配布プリント（2時間）
15	まとめ	配布プリント・小テスト①②③（2時間）

《専門科目》

科目名	人体構造と疾病Ｂ				
担当者氏名	中野　幹子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護を必要とするひとの生活支援を行うため、介護技術の根拠となる人体の構造や機能を理解することを目的とし、こころとからだの両方から利用者の状態がどのような要因から引き起こさせるか根拠となる知識を理解していく。

《授業の到達目標》
・人の人体がどのうように成り立っているか生きていくしくみの全体像を説明することができる。
・生命活動を支える様々な要素について学び、からだの防御修復や健康について説明することができる。
・脳や神経のしくみ、循環器や呼吸器など、基本的な解剖や生理を説明することができる。
・骨や関節などの働きやメカニクスを説明することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%　レポート10　%
課題　%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

《教科書》
最新・介護福祉士養成講座11　こころとからだのしくみ
中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
提出課題は１週間以内に確認する

《成績評価基準》
・人体の成り立ちや生きていくしくみについて説明することができるかどうか。
・からだの防御修復や健康について説明することができたか。
・基本的な解剖や生理を説明することができたか。
・骨や関節のメカニズムを説明することができたか。

《参考図書》
「こころとからだのしくみ」中央法規
「見て覚える　介護福祉士国試ナビ」　中央法規

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 人体の全体豪像を知る	教科書の解剖図を見ておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
2	からだの各部分の名称、 内臓の名称を知る	教科書の解剖図を見ておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
3	まとめ 人体の名称・内臓・骨他	教科書の解剖図と配布プリントを見ておく（３０分） テスト問題の間違い箇所をまとめる（３０分）
4	からだのしくみ 細胞・脳神経①	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
5	からだのしくみ 細胞・脳神経②	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
6	からだのしくみ 感覚系	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
7	からだのしくみ 呼吸器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
8	からだのしくみ 循環器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
9	まとめ　脳神経・感覚器 ・呼吸器・循環器	教科書と配布プリントを見ておく（３０分） テスト問題の間違い箇所をまとめる（３０分）
10	からだのしくみ 消化器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
11	からだのしくみ 泌尿器系・生殖器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
12	まとめ　消化器系 泌尿器系・生殖器系	教科書と配布プリントを見ておく（３０分） テスト問題の間違い箇所をまとめる（３０分）
13	からだのしくみ 内分泌系　薬の作用	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
14	からだのしくみ 血液・体液・リンパ液	教科書の範囲箇所を熟読しておく（３０分） 授業での内容と配布プリントをまとめる（３０分）
15	前期総括 全体のまとめ	教科書・配布プリントを熟読しておく（３０分） まとめの内容をまとめる（３０分）

《専門科目》

科目名	介護の基本Ⅰ				
担当者氏名	川井　小百合				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護を必要とする人の生活を支えるために、基本となる知識を学び、理解を深めます。

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは、
確認後に返却し、必要に応じて授業時に解説する。

《授業の到達目標》
①介護福祉士を取り巻く状況・背景・介護福祉士の社会的役割を理解し、具体的に述べることができる。
②介護サービスの概要を理解することができる。
③高齢者が生活してきた時代の暮らし・文化を調べて、具体的に述べることができる。

《成績評価基準》
講義内容についてのレポート・まとめのミニテストにより評価する。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%
レポート　10%
授業の取組　10%

《参考図書》
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護福祉の基本となる理念	予習：なぜ介護福祉士が必要とされているのかを考えてみる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
2	介護福祉を取り巻く状況・背景	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
3	介護福祉士の役割と機能	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
4	介護福祉士の倫理・ 介護福祉士の定義	予習：介護福祉士の定義について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
5	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
6	１～５までのまとめ	予習：１～５までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
7	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ	予習：介護を必要とする人の生活を支えるしくみを考えてみる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
8	介護サービスの概要	予習：介護サービスの概要について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
9	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
10	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
11	７～１０までのまとめ	予習：７～１０までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
12	介護を必要とする人の理解	予習：介護を必要とする人の理解を考えてみる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
13	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
14	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	介護の基本Ⅱ				
担当者氏名	一山　幸子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】①「尊厳を支える介護」②「自立に向けた介護」：教科書、配布プリント、DVD 視聴等により自立支援の基本的知識を学ぶ。③「介護を必要とする人の理解」：聴覚障害当事者の方、障害者施設職員より話を聞きニーズの実際を学ぶ。④「介護従事者の倫理」：特別養護老人ホーム主任生活相談員より話を聞き職業倫理・虐待を学ぶ。社会福祉士・介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》
①「尊厳を支える介護」について、ADL と QOL、ノーマライゼーション、利用者主体の考え方を説明することができる。②「自立に向けた介護」について、自立支援、ICF、リハビリテーションの考え方を説明することができる。③「介護を必要とする人の理解」について、障害のある人の暮らしや生活環境を説明することができる。④「介護従事者の倫理」について、職業倫理及び虐待の考え方を説明できる。

《成績評価の方法》
筆記試験　70%　レポート　10%
課題　%　実技　%
授業の取組　10%
その他（復習テスト）10%

《教科書》
最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」
介護福祉士養成講座編集委員会 編集　中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業中の重要語句記入プリントや DVD 等視聴レポート課題、復習テストなどは、授業中に答え合わせ及び解説をします。また、提出してもらったプリントやレポート、復習テストは添削をして返却します。

《成績評価基準》
①「尊厳を支える介護」：ADL と QOL（医学モデル、生活モデル）等利用者主体の考え方を説明できる。②「自立に向けた介護」：自立支援、ICF、リハビリテーションの考え方を説明できる。③「介護を必要とする人の理解」：障害のある人の暮らしや生活環境、ニーズを説明できる。④「介護従事者の倫理」：職業倫理と虐待の考え方、法制度の内容を説明できる。

《参考図書》
見て覚える介護福祉士国試ナビ2023　中央法規
介護福祉士養成講座　介護の基本Ⅰ　中央法規
社会福祉学習双書「障害者福祉論」全国社会福祉協議会

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	尊厳を支える介護：医学モデルと社会モデル	予習：教科書 P2～P4を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P2～P4をノートにまとめる（2時間）
2	尊厳を支える介護：ICIDH から ICF へ	予習：教科書 P5～P7を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P5～P7をノートにまとめる（2時間）
3	尊厳を支える介護：障害者の概数、障害者の定義	予習：教科書 P7～P12を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P7～P12をノートにまとめる（2時間）
4	尊厳を支える介護：ノーマライゼーション	予習：教科書 P13～P17を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P13～P17をノートにまとめる（2時間）
5	尊厳を支える介護：インクルージョン	予習：教科書 P17～P19を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P17～P19をノートにまとめる（2時間）
6	尊厳を支える介護：ストレングス、国際障害者年	予習：教科書 P19～P21を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P19～P21をノートにまとめる（2時間）
7	尊厳を支える介護：権利条約、アドボカシー	予習：教科書 P22～P25を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P22～P25をノートにまとめる（2時間）
8	介護を必要とする人の理解：知的障害支援の実際	予習：教科書 P160～P171を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P160～P171をノートにまとめる（2時間）
9	介護を必要とする人の理解：聴覚障害と手話	予習：教科書 P76～P81を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P76～P81をノートにまとめる（2時間）
10	自立に向けた介護：障害者総合支援法	予習：教科書 P27～P32を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P27～P32をノートにまとめる（2時間）
11	自立に向けた介護：障害者差別解消法	予習：教科書 P32～P34を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P32～P34をノートにまとめる（2時間）
12	自立に向けた介護：障害者の就労支援	予習：教科書 P36～P38を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P36～P38をノートにまとめる（2時間）
13	介護従事者の倫理：成年後見、相談支援専門員	予習：教科書 P38～P44を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P38～P44をノートにまとめる（2時間）
14	介護従事者の倫理：障害者及び高齢者虐待防止法	予習：教科書 P34～P36を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P34～P36をノートにまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：教科書 P2～P44を読み大事な所を再度確認する（2時間） 復習：教科書 P2～P44を総復習する（2時間）

《専門科目》

科目名	コミュニケーション技術Ａ				
担当者氏名	川井　小百合				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
・介護が必要な人とコミュニケーションを行う際に基本となる技術を学び、その能力を養えるような演習に取り組む。
・実践的なコミュニケーション方法を学ぶことができるように、障害のある当事者を招いた授業を行う。

《授業の到達目標》
１．コミュニケーションを行う際に基本となる技術を学び、相手が話しやすい態度をとること・話を広げること・相手のことを知り、気持ちを推察することができる。

２．自分のコミュニケーションの傾向を知ることができる。
３．介護の対象者やその家族、施設職員、多職種とのコミュニケーション方法を理解することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験 50%　レポート課題 20%
実技　20%
授業の取組　10%

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義内容についてのレポートは、確認後に返却し、必要に応じて授業時に解説する。

《成績評価基準》
レポート提出、演習における受講態度などにより総合的に評価する。

《参考図書》
ケアコミュニケーション　we net

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：シラバスを確認する（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
2	介護におけるコミュニケーション	予習：敬語の種類を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
3	会話の技術：傾聴・受容・共感	予習：傾聴・受容・共感の方法を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
4	会話の技術：傾聴・受容・共感	予習：傾聴・受容・共感の方法を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
5	会話の練習	予習：傾聴・受容・共感を使った話し方を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
6	自己覚知について	予習：自己覚知について調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
7	視覚障がい者とのコミュニケーション方法	予習：視覚障がい者の特徴を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
8	聴覚障がい者とのコミュニケーション方法	予習：聴覚障がい者の特徴を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
9	脳性マヒの方とのコミュニケーション方法	予習：脳性麻痺の特徴を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
10	知的障がい者とのコミュニケーション方法	予習：知的障がい者の特徴を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
11	精神障がい者とのコミュニケーション方法	予習：精神障がい者の特徴を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
12	高齢者とのコミュニケーション方法	予習：高齢者の特徴を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
13	認知症の方とのコミュニケーション方法	予習：認知症の方の特徴を調べる（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
14	家族や職員とのコミュニケーション方法	予習：家族や職員の気持ちを知る（0.5時間） 復習：講義内容を再確認する（0.5時間）
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(0.5時間) 復習：まとめの内容を再確認する(0.5時間)

《専門科目》

科目名	生活支援技術（移動Ａ）				
担当者氏名	古賀　啓之、田邉　伸一				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
移動・移乗に関する基本的な知識と技術を学び、根拠に基づいた介護を行う視点を養う。
自立支援に基づく残存機能や福祉用具を活用した介護を学ぶ。
利用者・介助者、双方の負担に配慮した技術を身に付ける。
※この授業は介護福祉士として実践経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》
①移動・移乗についての意義・目的を理解し、説明することができる。
②利用者の能力を活用・発揮し、自立を支援するための生活支援技術が行える。実践の根拠について説明できる。
③福祉用具の使用方法を習得し、活用することができる。
④腰痛予防・ボディメカニクス等、安全と健康管理について理解し、介助時に活用できる。

《成績評価の方法》
筆記試験　％　レポート　１０％
課題　％　実技　７０％
授業の取組　２０％
その他（　　）　％

《教科書》
必要に応じてプリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
質問・相談がある場合、授業後適宜対応する。
試験後、講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
①②③④レポートと実技試験による評価

《参考図書》
最新介護福祉士養成講座６　第2版
「生活支援技術Ⅰ」　中法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた移動の介助(オリエンテーション)	予習内容　シラバスの確認　３０分 復習内容　オリエンテーションの内容の振り返り　３０分
2	自立に向けた移動の介助(ボディメカニクス)	予習内容　ボディメカニクスについて調べる　３０分 復習内容　ボディメカニクスについてまとめる　３０分
3	自立に向けた移動の介助(立ち上がりと歩行)	予習内容　動作において重心がどのように移動するか考える　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
4	自立に向けた移動の介助(杖歩行と階段昇降)	予習内容　杖と歩行器について調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
5	自立に向けた移動の介助(車椅子の基本)	予習内容　車椅子の種類と機能について調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
6	自立に向けた移動の介助(車椅子の操作)	予習内容　車椅子の操作方法について調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
7	自立に向けた移動の介助(体位変換)	予習内容　どのような体位があるか調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
8	自立に向けた移動の介助(ベッド上の移動)	予習内容　ボディメカニクスについて復習する　３０分 復習内容　授業内容の振り返りを行い、まとめる　３０分
9	自立に向けた移動の介助(起床と臥床)	予習内容　自分の起床時・臥床時の動きについて考える　３０分 復習内容　授業内容の振り返りを行い、まとめる　３０分
10	自立に向けた移動の介助(起床と臥床)	予習内容　残存機能を活かした起床・臥床について考える　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
11	自立に向けた移動の介助(移乗介助)	予習内容　移乗時の手順について調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
12	自立に向けた移動の介助(移乗介助)	予習内容　移乗介助を振り返り、介助方法の根拠をまとめる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
13	自立に向けた移動の介助(まとめ)	予習内容　介護技術を振り返り、苦手な部分をまとめておく　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
14	振り返り・まとめ	予習内容　演習において苦手な部分を確認し、改善する　３０分 復習内容　演習のポイントや留意点をまとめる　３０分
15	振り返り・まとめ	予習内容　演習において苦手な部分を確認し、改善する　３０分 復習内容　授業全体を振り返り、まとめる　３０分

《専門科目》

科目名	生活支援技術（環境）				
担当者氏名	古賀　啓之、折居　明日香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
安全で快適な生活を送るための環境について学び、在宅や施設の多様な生活環境について基本的な知識を学習する。
健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援を学ぶ。
※この授業は介護福祉士として実践経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》
①住まいの多様性や安全で快適に生活できる住環境について、基礎的な知識を用い、具体的に述べることができる。
②利用者主体の生活を実現できる居住環境について、説明することができる。
③基本的なベッドメイキングとシーツ交換ができ、就寝環境を整えることができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　１０%
課題　%　実技　７０%
授業の取組　２０%
その他（　　）　%

《教科書》
必要に応じてプリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
質問・相談がある場合、授業後適宜対応する。
試験後、講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
①②講義中の問いかけに対する回答と、レポートによる評価
③実技試験による評価

《参考図書》
最新介護福祉士養成講座７　第2版
「生活支援技術Ⅱ」　中法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明・物品確認)	予習内容　シラバスの確認　３０分 復習内容　オリエンテーションの内容の振り返り　３０分
2	自立に向けた居住環境の整備(環境とは)	予習内容　自分の住んでいる環境について考える　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
3	自立に向けた居住環境の整備(意義と目的)	予習内容　なぜ環境を整える必要があるか調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
4	自立に向けた居住環境の整備(快適な就寝環境)	予習内容　高齢者の居住環境について調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
5	自立に向けた居住環境の整備(ベッドメイキング)	予習内容　ベッドメイキングとは何か調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
6	自立に向けた居住環境の整備(ベッドメイキング)	予習内容　ベッドメイキングの手順を確認する　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
7	自立に向けた居住環境の整備(ベッドメイキング)	予習内容　ベッドメイキングの手順を確認する　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
8	休息・睡眠の介護(就寝環境について)	予習内容　自分の睡眠状態についてまとめる　３０分 復習内容　授業内容の振り返りを行い、まとめる　３０分
9	休息・睡眠の介護(睡眠の重要性)	予習内容　高齢者の睡眠の傾向について調べる　３０分 復習内容　授業内容の振り返りを行い、まとめる　３０分
10	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容　シーツ交換の留意点について調べる　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
11	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容　シーツ交換の手順を確認する　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
12	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容　シーツ交換の手順を確認する　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
13	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容　シーツ交換の手順を確認する　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
14	振り返り・まとめ	予習内容　演習において苦手な部分を確認し、改善する　３０分 復習内容　演習のポイントや留意点をまとめる　３０分
15	振り返り・まとめ	予習内容　演習において苦手な部分を確認し、改善する　３０分 復習内容　授業全体を振り返り、まとめる　３０分

《専門科目》

科目名	実習指導Ａ				
担当者氏名	田邉　伸一、川井　小百合、古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
・介護実習について講義「介護実習要綱」で学び、施設見学の事前学習・事後学習で実習の流れを理解し、必要書類の作成演習を行う。
・この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が現場で培った経験と根拠に基づき講義を行う。

《授業の到達目標》
・介護実習に必要な「介護実習計画書」、「総括」等の作成をすることができる。
・総合演習ＩＡの施設見学事前・事後の準備をとおして地域の福祉施設の機能や役割、職員の仕事内容を理解し、「施設の概要」を記述することができる。
・介護職として相応しい身だしなみを理解し、施設見学で身なりを整え学生らしい立ち振る舞いができる。

《成績評価の方法》
レポート４０％
課題４０％
授業の取り組み２０％

《教科書》
本学科作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問にくること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。

《成績評価基準》
・介護実習に必要な「介護実習計画書」、「総括」等の作成をすることができたか。・総合演習ＩＡの施設見学事前・事後の準備をとおして地域の福祉施設の機能や役割、職員の仕事内容を理解し、「施設の概要」を記述することができたか。・介護職として相応しい身だしなみを理解し、施設見学で身なりを整え学生らしい立ち振る舞いができたか。

《参考図書》
適宜、紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習指導・介護実習の意義と目的	予習：介護実習とはなにか考えてみる（30分） 復習：実習に行く意義をノートにまとめる（30分）
2	実習の流れと関連書類・施設見学の目的	予習：実習要綱を読んでおく（30分） 復習：実習要綱の理解できていない部分を確認する（30分）
3	「実習計画書」：記述方法の説明・下書き	予習：実習の目標を考えておく（30分） 復習：実習計画書の内容を確認しておく（30分）
4	「実習計画書」：記述方法の確認・清書	予習：目標を達成するために必要なことを考えてみる（30分） 復習：計画書に間違いがないか確認しておく（30分）
5	「総括」：記述方法の説明・下書き	予習：総括について調べておく（30分） 復習：総括についてわからない部分を確認しておく（30分）
6	「 施設概要」：記述方法の説明・下書き	予習：施設概要について調べておく（30分） 復習：施設概要についてわからない部分を確認しておく（30分）
7	施設見学心構え・服装チェック	予習：施設見学に必要な資料・準備をしておく（30分） 復習：施設見学に必要な筆記用具等を確認しておく（30分）
8	施設見学事後指導１　「お礼状」作成	予習：お礼状の例文を考えてみる（30分） 復習：お礼状の記述方法をまとめておく（30分）
9	施設見学事後指導２ 「施設概要」個別作成	予習：施設概要の概案を考えてみる（30分） 復習：施設概要の仕上げ、確認をしておく（30分）
10	施設見学事後指導３ 「総括」個別作成	予習：総括の概案を考えてみる（30分） 復習：総括の仕上げ、確認をしておく（30分）
11	「施設概要・総括」 グループ作成	予習：施設概要・総括の資料をまとめておく（30分） 復習：施設概要・総括の仕上げ、確認をしておく（30分）
12	「施設概要・総括」 グループ発表１	予習：発表資料の確認をする（30分） 復習：発表した際の評価・考察・改善点を行う（30分）
13	「施設概要・総括」 グループ発表２	予習：発表資料の確認をする（30分） 復習：発表した際の評価・考察・改善点を行う（30分）
14	「実習日誌」：記述方法の説明	予習：実習日誌について調べてみる（30分） 復習：実習日誌の記述方法の確認をしておく（30分）
15	半期の学びを振り返る	予習：これまでの学びを確認しておく（30分） 復習：これまでの学びをまとめる（30分）

《専門科目》

科目名	コンピュータ演習				
担当者氏名	山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
【介護福祉士選択】
介護の現場でも、情報処理能力は必須の技術となっている。現場での記録や情報伝達のために MicrosoftWord、PowerPoint、Excelを使用する場面は多い。本授業では、Microsoft Word、PowerPoint、Excelの基本的な操作の習得を目指す。
※必要に応じてGoogleドキュメント・スプレッドシート・スライド・フォームを使用する。

《授業の到達目標》
① Microsoft Word で書類の作成ができるようになる。
② Microsoft Excel でプレゼンテーション用のデータ集計ができるようになる。
③ Microsoft PowerPoint でプレゼンテーション用の資料が作れるようになる。
※必要に応じGoogleドキュメント・スプレッドシート・スライド・フォームでも同等の技術習得を目指す。

《成績評価の方法》
課題　80%
授業の取組　20%

《教科書》
必要時にプリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
①②③ミニテストの結果は、原則として次の授業で講評を述べる。
①15限目の課題は成績の発表をもってフィードバックとする。

《成績評価基準》
授業の取り組み：①②③各単元ごとに、授業内課題を提出させ「授業の取り組み」として評価する。
課題：①15時間目に授業内課題を提出させ評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	PCルームの使い方／メール設定	予習：自身のスマートフォンのメール設定を確認する。（30分） 復習：配布されたGmailの送受信が可能であることを確認する。（30分）
2	Google Classroomの使い方	予習：１回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
3	Microsoft Word Google ドキュメント	予習：２回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
4	Microsoft Word Google ドキュメント	予習：３回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
5	Microsoft Word Google ドキュメント	予習：４回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
6	Microsoft Word Google ドキュメント	予習：５回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
7	Microsoft Word Google ドキュメント	予習：６回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
8	Excel・google スプレッドシート	予習：７回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
9	Excel・google スプレッドシート	予習：８回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
10	Excel・google スプレッドシート	予習：９回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
11	Microsoft PowerPoint google スライド	予習：10回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
12	Microsoft PowerPoint google スライド	予習：11回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
13	Microsoft PowerPoint google スライド	予習：12回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
14	Microsoft PowerPoint google スライド	予習：13回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。
15	まとめ（課題作成）	予習：14回目の授業で伝達する。（30分） 復習：15回で学んだ内容をまとめる。

《専門科目》

科目名	介護の基礎Ⅰ				
担当者氏名	永吉　美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
介護福祉士として必要な専門的な知識や理論をみにつける
ために　授業中はもちろん自宅学習を徹底をおこなう
基礎として必要な語彙の読み　意味の理解確認を中心に行う

《教科書》
自作プリント

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験後の間違いが多かった問題を中心にフィードバック

《授業の到達目標》
介護に必要な語彙が読めるようになる
語彙の意味が理解できるようになる
介護事例集を読んで　内容を理解し記述できるようになる
国家試験問題が解けるようになる

《成績評価基準》
学期末テスト
授業の取り組む
小テスト

《成績評価の方法》
筆記試験70%　レポート　%
課題　20%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

《参考図書》
介護福祉士養成講座　11　こころとからだのしくみ
介護福祉士養成講座　12　発達と老化の理解

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 睡眠	復習　睡眠の仕組み（2時間）
2	体のしくみ 感覚器　　小テスト	予習　脳神経　（2時間）　　復習　感覚器（２時間）
3	体のしくみ 内臓　　小テスト	予習　呼吸器　（２時間）　復習　内臓　（２時間）
4	体のしくみ 呼吸器	予習　循環器　（２時間）　復習　内臓　（２時間）
5	体のしくみ 循環器	予習　消化器　（２時間）　復習　呼吸器　（２時間）
6	体のしくみ 消化器	予習　骨と関節　（2時間）　復習　循環器　（2時間）
7	体のしくみ 骨と関節	復習　１～７までの復習　（４時間）
8	小テスト FB	予習　食事（2時間）
9	食事に関連した体の しくみ	予習　高齢者に多い病気（2時間）　復習　（食事と嚥下）
10	高齢者に多い病気	予習　認知症　（2時間）　　復習　高齢者に多い病気　（２時間）
11	認知症　①	予習　認知症　②　（2時間）　復習　認知症　①　（２時間）
12	認知症　②	予習　死の理解　（2時間　）　復習　認知症　②　（２時間）
13	死の理解	復習　死の理解　（２時間）　今までの復習（2時間）
14	復習問題と試験対策	今まで学習した教材を復習・確認　（４時間）
15	期末試験とFB	復習　試験の見直し

《専門科目》

科目名	検定読解Ⅰ				
担当者氏名	高向　有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
留学生のための日本語授業です。
日常的な場面で使われる日本語と、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解できるようになりましょう。授業は課題の解説を中心に行います。必ず課題を解いて全授業に出席してください。読む力向上のポイントは自宅学習です。自己管理力を身につけましょう。

《授業の到達目標》
・学校や生活で必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
・かんたんな内容の評論やエッセイを読んで、因果関係や筆者の考え方が理解できる。
・かんたんな内容の複数のテキストを読み比べて、共通点や相違点を述べることができる。
・文章から必要な情報を探し出すことができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　50%　レポート　%
課題　30%　実技　%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《教科書》
『TRY!日本語能力試験N2　文法から伸ばす日本語』（アスク出版（レベルによってN2またはN3）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題の解説は次回の授業内で行う。
理解度を確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。

《成績評価基準》
・毎回課題にしっかり取り組んで授業にのぞんでいたか。
・授業で学んだ語彙や文法とまとめノートを作るなど自宅学習が十分になされていたか。
・文章を理解するためのストラテジーを身につけることができたか。
以上の取り組み方と課題提出・筆記試験で総合的に評価する。

《参考図書》
日本語能力試験関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実力テスト 身の回りの文書	予習：授業内容の確認　30分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
2	通知文・お知らせ	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
3	ニュース	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
4	説明文	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
5	エッセイ	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
6	小説	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
7	新聞	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
8	グラフと図表	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
9	論説文	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
10	統合問題	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
11	模擬試験	予習：模擬試験準備　60分 復習：模擬試験の見直し 60分
12	模擬試験の解説 情報検索	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
13	過去問題①	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
14	過去問題②	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
15	過去問題のフィードバックとまとめ	予習：期末試験準備　60分 復習：まとめ

《専門科目》

科目名	検定文法Ⅰ				
担当者氏名	入江　千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
留学生が日本の生活で必要な日本語能力を上げるためには、文法を身につけることが必要になります。授業の中で、文法の理解を深めながら繰り返し練習をしていきましょう。
この授業は、復習がとても重要です。授業のあとは必ず復習をしてください。また毎回の小テストを通して、自分の苦手なところをよく確認し、日本語能力のレベルアップにつなげてください。

《授業の到達目標》
・授業で学んだ日本語文法をよく理解し、文を作ることができる。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》
・期末試験50%
・小テスト・課題30%
・授業への取り組み20%

《教科書》
『TRY！日本語能力試験N2　文法から伸ばす日本語』（アスク出版）
（レベルによってN2またはN3）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
・毎週小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》
・まじめに授業に取り組んでいたか。
・授業で取り上げた文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 文法　導入・練習	予習：テキストの内容を確認／過去に学んだ文法の復習をしておく。（30分） 復習：第1回授業内容の復習（30分）
2	小テスト 文法　導入・練習	予習：第2回授業内容の予習（30分） 復習：第2回授業内容の復習（30分）
3	小テスト 文法　導入・練習	予習：第3回授業内容の予習（30分） 復習：第3回授業内容の復習（30分）
4	小テスト 文法　導入・練習	予習：第4回授業内容の予習（30分） 復習：第4回授業内容の復習（30分）
5	小テスト 文法　導入・練習	予習：第5回授業内容の予習（30分） 復習：第5回授業内容の復習（30分）
6	小テスト 文法　導入・練習	予習：第6回授業内容の予習（30分） 復習：第6回授業内容の復習（30分）
7	小テスト 文法　導入・練習	予習：第7回授業内容の予習（30分） 復習：第7回授業内容の復習（30分）
8	小テスト 文法　導入・練習	予習：第8回授業内容の予習（30分） 復習：第8回授業内容の復習（30分）
9	小テスト 文法　導入・練習	予習：第9回授業内容の予習（30分） 復習：第9回授業内容の復習（30分）
10	小テスト 文法　導入・練習	予習：第10回授業内容の予習（30分） 復習：第10回授業内容の復習（30分）
11	模擬試験 文法　導入・練習	予習：第11回授業内容の予習（30分） 復習：第11回授業内容の復習（30分）
12	小テスト 文法　導入・練習	予習：第12回授業内容の予習（30分） 復習：第12回授業内容の復習（30分）
13	小テスト 文法　導入・練習	予習：第13回授業内容の予習（30分） 復習：第13回授業内容の復習（30分）
14	小テスト 文法　導入・練習	予習：第14回授業内容の予習（30分） 復習：第14回授業内容の復習（30分）
15	総復習 総まとめ	予習：第15回授業内容の予習（30分） 復習：第15回授業内容の復習（30分）

《専門科目》

科目名	検定文字語彙Ⅰ				
担当者氏名	高向　有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
Ｎ3からＮ2レベルの教科書に沿って授業を進めます。3000～6000語を習得するためには自宅学習が必須です。予習・復習に時間をかけ、授業では語彙の運用と確認と応用小テストの繰り返しで力をつけていきましょう。語彙力は日本語力向上の第一歩です。

《教科書》
新完全マスター語彙 日本語能力試験
（スリーエーネットワーク）クラスレベルによってN2またはN3

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
小テスト、模擬試験は翌週にフィードバックします。

《授業の到達目標》
・日本語能力試験Ｎ3～Ｎ2レベルの漢字を読むことができる。
・Ｎ3～Ｎ2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使うことができる。
・名詞・基本動詞などは、自分で調べ、不明な点を教師に質問できる。
・日本語能力試験合格を目指し、自主的に取り組むことができる。

《成績評価基準》
・日本語能力試験Ｎ3～2レベルの漢字が読めるか。
・Ｎ3～2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使えるか。
・名詞・基本動詞は自分で調べ、不明な点を教師に質問できるか。
・日本語能力試験合格を目指し自主的に取り組めるか。

《成績評価の方法》
筆記試験　30%　レポート　%
課題　30%　実技　%
授業の取組　30%
その他（模試）　10%

《参考図書》
日本語能力試験関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、実力テスト	予習：実力テスト準備　1時間 復習：実力テスト復習　30分
2	実力テスト FB、語彙（社会1）	予習：語彙（社会１）30分 復習：語彙（社会１）30分
3	語彙（社会2）・短文作成	予習：語彙（社会２）30分 復習：語彙（社会２）30分
4	小テスト、語彙（社会3）・短文作成	予習：語彙（社会３）30分 復習：語彙（社会３）30分
5	語彙（自然）・短文作成	予習：語彙（自然）30分 復習：語彙（自然）30分
6	小テスト、語彙（和語動詞）、短文作成	予習：語彙（和語動詞）30分 復習：語彙（和語動詞）30分
7	語彙（漢語動詞）、短文作成	予習：語彙（漢語動詞）30分 復習：語彙（漢語動詞）30分
8	日本語能力試験模擬試験	予習：模試準備　1時間 復習：模試復習　1時間
9	小テスト、語彙（形容詞）、短文作成	予習：語彙（形容詞）30分 復習：語彙（形容詞）30分
10	語彙（副詞）、短文作成	予習：語彙（副詞）30分 復習：語彙（副詞）30分
11	小テスト、語彙（オノマトペ）、短文作成	予習：語彙（オノマトペ）30分 復習：語彙（オノマトペ）30分
12	語彙（漢語）、短文作成	予習：語彙（漢語）30分 復習：語彙（漢語）30分
13	小テスト、語彙（言い換え類義）短文作成	予習：語彙（言い換え類義）30分 復習：語彙（言い換え類義）30分
14	語彙（語形成）、短文作成	予習：語彙（語形成）30分 復習：語彙（語形成）30分
15	試験、まとめ	予習：期末準備　2時間

1 年 後 期

《基礎科目》

科目名	総合演習ＩＢ				
担当者氏名	折居　明日香、中野　幹子、一山　幸子、川井　小百合、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護実習、実習指導Bと組み合わせた学習で、実習の準備と実習に必要な記録物の記述方法、実習施設の基礎知識について学ぶ。介護実習の目標設定や実習後の自己の課題を抽出し、専門職としての態度や姿勢を養う。巡回教員ごとの個別指導を行い、個人の学習状況に応じた指導を実施する。

《授業の到達目標》
①実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設ついての理解を深め、各領域で学習した知識と技術を統合し、反映した内容を記録物に記述することができる。
②実習における目標や自己の課題を明確にし、個人ワークやグループワークで考える力を養うことができる。また、グループ発表で他者に説明する力を向上することができる。

《成績評価の方法》
課題　60%
授業の取組　30%
その他（提出物）10%

《教科書》
適宜プリントを配布する。
本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題や実習記録物は添削後に返却し、担当教員が個別指導時に解説を行う。

《成績評価基準》
①レポート等で自己の考えをまとめ解答することができる。
②記述後の実習記録物の評価、グループワーク等の取り組み姿勢、自分の考えをまとめ発表することができる。

《参考図書》
「介護実習で困らないためのＱ＆Ａ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：シラバスを確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
2	知識と技術の統合 （実習の意義と目的）	予習：実習要綱を確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
3	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
4	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
5	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
6	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
7	担当教員面談	予習：担当教員への質問や話したい内容をまとめておく。（30分） 復習：実習に関する配布プリントを読んで再確認する。（30分）
8	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
9	知識と技術の統合 （実習直前指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分
10	知識と技術の統合 （実習直後指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分
11	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分
12	担当教員面談	予習：担当教員への質問や話したい内容をまとめておく。（30分） 復習：実習に関する配布プリントを読んで再確認する。（30分）
13	介護実践の科学的探究 （グループワーク発表）	予習：グループ発表に必要な資料の作成や準備を行う。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
14	介護実践の科学的探究 （グループワーク発表）	予習：グループ発表に必要な資料の作成や準備を行う。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
15	まとめ	予習：授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容の要点をノートにまとめる。（30分）

《基礎科目》

科目名	英語Ⅱ				
担当者氏名	西村　紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
基礎文法の復習を行い、使える英語の知識を確立する。
Audio教材を使ったフレーズ練習により、日常会話での表現を学び、抵抗なく発話する力を身につける。
毎回語彙テストを行い、語彙・熟語を増やすことを心掛け、TOEICや英検などの資格試験の取得も視野に入れて取り組む。

《授業の到達目標》
英語Ⅰで学んだ基礎文法を応用して活用できるようにする。
基礎文法をさらに学び、日常の身の回りの事柄について、自分の言葉で発話できるようにする。

《成績評価の方法》
筆記試験　30%　レポート　－%
課題　－%　実技　－%
授業の取組　35%
その他（提出物）　35%

《教科書》
プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《成績評価基準》
基礎文法の応用力が身についているか。
身の回りの事柄について、自分の言葉で発信し説明できるか。
応用に必要な基本的語彙が身についているか。

《参考図書》
「英会話の基本文型８７」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講座概要と英語基本文型について	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
2	ｔｏ不定詞（名詞、形容詞、副詞的用法）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
3	比較（原級、比較級、最上級）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
4	受動態	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
5	受動態演習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
6	現在完了形（完了、経験、継続）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
7	現在完了形（完了、経験、継続）演習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
8	現在分詞	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
9	過去分詞	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
10	現在分詞・過去分詞演習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
11	関係代名詞（主格）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
12	関係代名詞（目的格）	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
13	関係代名詞演習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
14	後期学習内容の総復習	予習：課題語彙（30分） 復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）
15	後期学習内容の理解確認	復習：学習した項目の整理・応用問題（30分）

《基礎科目》

科目名	茶道文化Ⅱ				
担当者氏名	池末　愛香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
【介護福祉士選択】
実技を主とする
１．日常生活での作法をより美しく身につける
２．周囲への心配りができ、感謝する心を身につける
３．茶道を学ぶことで、日本文化への造詣を深める
４．前半は風炉薄茶点前、後半は炉薄茶点前を稽古する

《授業の到達目標》
繰り返し稽古することによって、心を込めたもてなしが自然体でできるようになる
思いやりを持って、お互いに接することができる
真心を込めて、お茶をたてることができる
総合文化といわれる茶道を学ぶことによって、美に対する感性を磨くことができる
日本の昔からの儀礼や慣習を体験し、覚えることができる

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　30%
課題　%　実技　30%
授業の取組　40%
その他（　　）　%

《教科書》
帛紗セット

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業終了後レポートを作成し、次の授業までに提出する

《成績評価基準》
授業への取り組み方
レポートの内容
所作・点前の習得度

《参考図書》
『裏千家茶道』　監修・裏千家今日庵
制作・一般財団法人　今日庵

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 基本の所作	予習内容　シラバスを読む(30分) 復習内容　授業の復習(30分)
2	帛紗の扱い 柄杓の扱い	予習内容　基本の所作を確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
3	客の心得 道具の清めかた	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
4	運び薄茶点前(風炉・前半)	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
5	運び薄茶点前(風炉・後半)	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
6	運び薄茶点前(風炉)	予習内容　帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
7	運び薄茶点前(風炉)	予習内容　帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
8	浴衣の着方	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
9	柄杓の扱い 運び薄茶点前(炉・前半)	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
10	運び薄茶点前(炉・後半)	予習内容　帛紗さばき(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
11	運び薄茶点前(炉)	予習内容　帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
12	運び薄茶点前(炉)	予習内容　帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
13	茶花 茶会の準備	予習内容　帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
14	茶会①	予習内容　帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)
15	茶会② 総括	予習内容　帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容　帛紗さばき、授業の復習(30分)

《専門科目》

科目名	社会福祉概論Ｂ				
担当者氏名	田邉　伸一				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
・高齢者福祉制度の基本的な法律である「介護保険制度」、障害者福祉制度の基本的な法律である「障害者総合支援法」などの内容を把握し、高齢者福祉と障害者福祉の現状と課題を捉える知識を養う。
・人間の尊厳と自立に関わる権利擁護や個人情報保護等、介護実践に関する制度・施策の基本的な考え方を仕組みを養う。

《授業の到達目標》

・福祉の理念を理解し、尊厳保持や権利擁護の視点及び専門職として基盤となる倫理観を養うことができる。
・介護実践に必要な知識という観点から、社会保障制度・施策についての基礎的な知識を身につけることができる。
・介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び人間性を養うことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験８０％
授業の取組１０％
ミニテスト０％

《教科書》

『社会の理解』第2版（中央法規）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・授業中に課したミニテストは、採点し原則、次の授業で返却する。

《成績評価基準》

・福祉の理念を理解し、尊厳保持や権利擁護の視点及び専門職として基盤となる倫理観を養うことができたか。
・介護実践に必要な知識という観点から、社会保障制度・施策についての基礎的な知識を身につけることができたか。
・介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び人間性を養うことができたか。

《参考図書》

書名：系統看護学講座　専門基礎分野
健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉
著者代表：福田素生　発行者：株式会社　医学書院

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP114～Ｐ127を読んでおく（2時間） 復習：テキストP114～Ｐ127の概要をまとめる（2時間）
2	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP128～Ｐ151を読んでおく（2時間） 復習：テキストP128～Ｐ151の概要をまとめる（2時間）
3	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP151～Ｐ166を読んでおく（2時間） 復習：テキストP151～Ｐ166の概要をまとめる（2時間）
4	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP166～Ｐ181を読んでおく（2時間） 復習：テキストP166～Ｐ181の概要をまとめる（2時間）
5	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP182～Ｐ195を読んでおく（2時間） 復習：テキストP182～Ｐ195の概要をまとめる（2時間）
6	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP198～Ｐ206を読んでおく（2時間） 復習：テキストP198～Ｐ206の概要をまとめる（2時間）
7	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP207～Ｐ216を読んでおく（2時間） 復習：テキストP207～Ｐ216の概要をまとめる（2時間）
8	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP216～Ｐ228を読んでおく（2時間） 復習：テキストP216～Ｐ228の概要をまとめる（2時間）
9	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP228～Ｐ239を読んでおく（2時間） 復習：テキストP228～Ｐ239の概要をまとめる（2時間）
10	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP240～Ｐ252を読んでおく（2時間） 復習：テキストP240～Ｐ252の概要をまとめる（2時間）
11	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP254～Ｐ277を読んでおく（2時間） 復習：テキストP254～Ｐ277の概要をまとめる（2時間）
12	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP278～Ｐ290を読んでおく（2時間） 復習：テキストP278～Ｐ290の概要をまとめる（2時間）
13	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP292～Ｐ300を読んでおく（2時間） 復習：テキストP292～Ｐ300の概要をまとめる（2時間）
14	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP301～Ｐ311を読んでおく（2時間） 復習：テキストP301～Ｐ311の概要をまとめる（2時間）
15	半期の学びを振り返る	予習：半期で学んだ内容を再確認しておく。 復習：授業での学びを自分なりにまとめる。

《専門科目》

科目名	障害の理解				
担当者氏名	川井　小百合				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
それぞれの障害状況に関する講義から、理解が深められるように授業を行います。

《教科書》
「障害の理解」
中央法規出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは確認後に返却し、必要に応じて授業時に解説する。

《授業の到達目標》
身体・精神・知的障害など、様々な障害についての特性を理解し、障害の状況に応じた生活の支援について具体的に述べることができる。

《成績評価基準》
講義内容についてのレポート・まとめのミニテストにより評価する。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%
レポート　15%
授業の取組　5%

《参考図書》
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「障害」の概念、障害者福祉の基本理念	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
2	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
3	障害の基礎的理解： 視覚・聴覚・言語障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
4	障害の基礎的理解： 重複障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
5	1～4までのまとめ	予習：1～4までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
6	障害の基礎的理解： 運動機能障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
7	障害の基礎的理解： 内部障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
8	障害の基礎的理解： 内部障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
9	6～8までのまとめ	予習：6～8までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
10	障害の基礎的理解： 発達障害・知的障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
11	障害の基礎的理解： 高次脳機能障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
12	障害の基礎的理解： 精神障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
13	障害の基礎的理解： 難病	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
14	10～13までのまとめ	予習：10～13までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	障害者福祉論				
担当者氏名	一山　幸子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】①「自立に向けた介護」②「介護を必要とする人の理解」：教科書、配布プリントにより障害者の制度や心理を学ぶ。③「障害の医学的側面の基礎的知識」：映像視聴や具体的事例紹介により知的障害、発達障害の原因、特性、支援方法を学ぶ。④「連携と協働」⑤「家族への支援」：教科書、配布プリントにより社会資源やレスパイトケアを学ぶ。社会福祉士・介護福祉士の実務経験者が担当する。

《授業の到達目標》
①「自立に向けた介護」：障害者福祉と介護保険の制度の違いを説明できる。②「介護を必要とする人の理解」：障害がある人の心理、障害受容、ピアサポートを説明できる。③「障害の医学的側面の基礎的知識」：知的障害、発達障害の原因、特性等を説明できる。④「連携と協働」：地域のサポート体制、社会資源、サービスのしくみを説明できる。⑤「家族への支援」：障害のある人の家族支援、レスパイトケアを説明できる

《成績評価の方法》
筆記試験　70　%　レポート　10　%
課題　%　実技　%
授業の取組　10　%　その他（復習テスト）　10　%

《教科書》
最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」
介護福祉士養成講座編集委員会 編集　中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業中の重要語句記入プリントや映像視聴等のレポート課題、復習テストなどは、添削をして返却します。授業中のプリントやレポート課題が不合格であった場合は、しっかりやり直しをして再度提出して下さい。

《成績評価基準》
①障害者福祉制度と介護保険制度の違いを説明できる。②障害がある人の心理、障害受容、ピアサポートを説明できる。③知的障害、発達障害の原因、特性、支援を説明できる。④地域のサポート体制、社会資源、障害福祉サービス提供のしくみを説明できる。⑤障害のある人の家族への支援、レスパイトケアのあり方を説明できる。

《参考図書》
見て覚える！介護福祉士国試ナビ2023、中央法規
発達障害のある人の「ものの見方・考え方」、ミネルヴァ
障害者福祉論、全国社会福祉協議会

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた介護：障害福祉制度と介護保険制度	予習：教科書 P39～P42を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P39～P42をノートにまとめる（2時間）
2	自立に向けた介護：障害福祉制度と介護保険制度	予習：教科書 P42～P44を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P42～P44をノートにまとめる（2時間）
3	介護を必要とする人の理解：障害がある人の心理	予習：教科書 P48～P50を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P48～P50をノートにまとめる（2時間）
4	介護を必要とする人の理解：障害受容の過程	予習：教科書 P51～P55を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書 P51～P55をノートにまとめる（2時間）
5	障害の医学的側面の基礎的知識：知的障害とは	予習：教科書P160～P162を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P160～P162をノートにまとめる（2時間）
6	障害の医学的側面の基礎的知識：特性と支援	予習：教科書P162～P166 を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P162～P166 をノートにまとめる（2時間）
7	障害の医学的側面の基礎的知識：ライフステージ	予習：教科書P166～P171を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P166～P171をノートにまとめる（2時間）
8	障害の医学的側面の基礎的知識：発達障害とは	予習：教科書P196～P201を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P196～P201をノートにまとめる（2時間）
9	障害の医学的側面の基礎的知識：特性と生活支援	予習：教科書P202～P205を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P202～P205をノートにまとめる（2時間）
10	障害の医学的側面の基礎的知識：支援機関	予習：教科書P205～P207を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P205～P207をノートにまとめる（2時間）
11	連携と協働：地域のサポート体制	予習：教科書P222～P226を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P222～P226をノートにまとめる（2時間）
12	連携と協働：地域の障害福祉サービスのしくみ	予習：教科書P226～P235を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P226～P235をノートにまとめる（2時間）
13	連携と協働：チームアプローチ	予習：教科書P236～P247を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P236～P247をノートにまとめる（2時間）
14	家族への支援：障害がある人の家族への支援	予習：教科書P250～P275を読み大事な所に下線を引く（2時間） 復習：教科書P250～P275をノートにまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：教科書 1週～14週の範囲を読み直して大事な所を確認する（2時間） 復習：教科書 1週～14週の範囲の要点をプリント・ノートにまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	認知症Ｂ				
担当者氏名	折居　明日香				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
認知症の人を中心に捉え、本人や家族、地域の力を生かした認知症ケアについて理解するための基礎的な知識やアプローチ方法を学ぶ。
この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》
①認知症ケアの実践力の向上を目指し、本人の思いや症状などの個別性に応じた支援について基礎知識やアプローチ方法を理解することができる。
②認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や、他職種連携・協働による支援、認知症当事者を支える家族への支援について、基礎的な知識を説明することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　　60%
レポート　　10%
授業の取組　10%
その他（小テスト）20%

《教科書》
適宜プリント配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
・小テストを実施しフィードバックとして、解説の時間を設ける。
・授業中に課したレポートは、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》
①定期試験および小テスト認知症に関する基礎知識について6割以上解答できる。
②講義中の質問への解答、認知症に関する基礎知識についてレポートで考えをまとめ、説明することができる。

《参考図書》
最新　介護福祉士養成講座13
「認知症の理解」中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 前期の振り返り	予習：シラバスの確認。前期で配布したプリントを読んで再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（2時間）
2	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア①	予習：認知症ケアの理念について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
3	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア②	予習：パーソン・センタード・ケアについて調べておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
4	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア③	予習：認知症の特性を踏まえたアセスメント･ツールについて調べておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
5	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア④	予習：ユマニチュード・バリデーションについて調べておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
6	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア⑤	予習：リアリティ・オリエンテーション、回想法について調べておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
7	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア⑥	予習：認知症の人へのケア（食事、排泄、入浴）について調べておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
8	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア⑦	予習：認知症の人へのケア（睡眠、活動、BPSD）について調べておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
9	認知症に伴う生活への 影響と認知症ケア⑧	予習：認知症の人への環境づくりについて調べておく（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
10	連携と協働①	予習：地域における認知症ケアのサポートについて調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
11	連携と協働②	予習：認知症ケアにおけるチームアプロ―チについて調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
12	家族への支援①	予習：認知症当事者を支える家族への支援について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
13	家族への支援②	予習：介護福祉職への支援について調べる。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
14	授業の振り返り （小テスト）	予習：後半の授業を振り返り、疑問・質問点を挙げておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（2時間）
15	本授業のまとめ	予習：授業で配布したプリントを再確認する。（2時間） 復習：講義全体を振り返り、学んだ内容の要点をノートにまとめる。（2時間）

《専門科目》

科目名	人体構造と疾病Ｃ				
担当者氏名	中野　幹子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
身じたく」「移動」「入浴・清潔保持」「排泄」の生活支援技術の科学的根拠を考えながら学ぶ授業である。基本的には教科書にそった内容のパワーポイント資料で授業を行っていく。

《授業の到達目標》
「身じたく」「移動」「入浴・清潔保持」「排泄」に関連したこころとからだのしくみの医療的な知識を深めることで、対象者の健康状態への気づきと早期発見、報告のポイントを学ぶ。

《成績評価の方法》
筆記試験　70%　レポート　10%
授業の取組　20%

《教科書》
最新・介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
予習、復習、質問、レポートによりフィードバックします。

《成績評価基準》
レポート、筆記試験、授業への姿勢を総合評価します。

《参考図書》
介護福祉士国試ナビ　中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	講義要綱
2	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	予習：身じたくの意義と目的　（1時間）　復習：身じたくの必要性を理解する（1時間）
3	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	予習：毛髪・耳・目・爪の役割と機能（1時間）　復習：毛髪・耳・目・爪清潔の意義を理解する（1時間）
4	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	予習：口腔内のしくみを理解し口腔ケアの意義を理解する（1時間） 復習：口腔内ケアの方法（1時間）
5	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：姿勢の種類ど移動の関連を学ぶ（1時間）　復習：姿勢を理解する（1時間）
6	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：移動の方法とからだのしくみ（1時間）復習：移送の種類を理解する（1時間）
7	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：移動と筋肉と骨のしくみ（1時間）　復習：筋肉と骨の種類の理解（1時間）
8	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：移動に関した気づきと疾病（1時間）　復習：移動に関連した疾病の理解（1時間）
9	入浴清潔保持のこころとからだのしくみ	予習：清潔保持の意義（1時間）　復習：清潔保持の意義を理解する（1時間）
10	入浴清潔保持のこころとからだのしくみ	予習：皮膚のしくみを理解する（1時間）　復習：皮膚のしくみを理解する（1時間）
11	入浴清潔保持のこころとからだのしくみ	予習：入浴清潔の気づきと疾病の理解（1時間）復習：病気の特徴を理解する（1時間）
12	排泄に関連したこころとからだのしくみ	予習：排尿と排便の理解（1時間）　復習：尿と便の種類　（1時間）
13	排泄に関連したこころとからだのしくみ	予習：排尿障害、排便障害の理解（1時間）　復習：排尿障害と排便障害の特徴を理解する（1時間）
14	排泄に関連したこころとからだのしくみ	予習：排泄に関連した気づきと疾病の理解（1時間）復習：排泄に関連した疾病の理解（1時間）
15	14回の復習とまとめ	予習：復習（1時間）　復習：まとめ（1時間）

《専門科目》

科目名	コミュニケーション技術Ｂ				
担当者氏名	古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
情報を適切にまとめ、発信するために、介護実践における情報の共有化の意義を理解し、その具体的な方法や情報の管理について理解する。
又、利用者の心身の状態や障がいなどの特性に応じたコミュニケーションの技術を実践的に身につ行ける。

《授業の到達目標》
①介護業務における記録の意義や方法、情報の共有と守秘義務について理解できる。
②実習でのコミュニケーションの振り返りを行い、介護施設におけるコミュニケーションのポイントを理解できる。
③演習において、利用者の状態やその状況に応じたコミュニケーションの方法を学び、実践することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　50%　レポート　20%
実技　20%
授業の取組　10%

《教科書》
必要に応じてプリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業での課題・提出物は確認後、必要に応じて個別に指導を行う。

《成績評価基準》
①②③筆記試験、演習、レポートにより評価。

《参考図書》
最新介護福祉士養成講座５　第2版
「コミュニケーション技術」　中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習内容　シラバスの確認　３０分 復習内容　コミュニケーションについてまとめる　３０分
2	記録の意義①	予習内容　介護における記録について調べる　３０分 復習内容　記録の意義について振り返り、まとめる　３０分
3	記録の意義②	予習内容　どのような記録があるか調べる　３０分 復習内容　様々な記録物について、まとめる　３０分
4	記録の専門用語の理解	予習内容　記録に用いる用語について調べる　３０分 復習内容　記録の専門用語についてまとめる　３０分
5	実習施設とのコミュニケーション	予習内容　実習先への電話の方法や、施設訪問時のマナーについて調べる　３０分 復習内容　実習先への電話の方法や、施設訪問時のマナーについてまとめる　３０分
6	実習でのコミュニケーションの振り返り	予習内容　実習で印象に残ったコミュニケーションを選出する　３０分 復習内容　実習で印象に残ったコミュニケーションについてまとめる　３０分
7	実習でのコミュニケーションの振り返り	予習内容　前回授業の振り返り　３０分 復習内容　自分のコミュニケーションの傾向についてまとめる　３０分
8	当事者とのコミュニケーション	予習内容　障がいに応じたコミュニケーション方法を振り返る　３０分 復習内容　コミュニケーションの振り返りレポートを作成する　３０分
9	当事者とのコミュニケーション	予習内容　障がいに応じたコミュニケーション方法を振り返る　３０分 復習内容　コミュニケーションの振り返りレポートを作成する　３０分
10	実践的なコミュニケーション	予習内容　前回の授業を振り返る　３０分 復習内容　実践的なコミュニケーション技術についてまとめる　３０分
11	当事者とのコミュニケーション	予習内容　障がいに応じたコミュニケーション方法を振り返る　３０分 復習内容　コミュニケーションの振り返りレポートを作成する　３０分
12	当事者とのコミュニケーション	予習内容　障がいに応じたコミュニケーション方法を振り返る　３０分 復習内容　コミュニケーションの振り返りレポートを作成する　３０分
13	会話の演習	予習内容　傾聴、受容、共感などのコミュニケーション技術を振り返る　３０分 復習内容　演習で習得できていなかった技術の復習　３０分
14	会話の演習	予習内容　傾聴、受容、共感などのコミュニケーション技術を振り返る　３０分 復習内容　演習で習得できていなかった技術の復習　３０分
15	振り返り・まとめ	予習内容　演習において苦手な部分を確認し、改善する　３０分 復習内容　授業全体を振り返り、まとめる　３０分

《専門科目》

科目名	生活支援技術（移動Ｂ）				
担当者氏名	田邉　伸一、山本　恭大				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】基本的な移乗・移動の支援を踏まえた応用編として、利用者の身体状況・環境に応じた移乗・移動の支援方法を学ぶ。また、対象者の自立支援を尊重し、潜在能力を引き出せるように知識・技術を養う。福祉用具では、床走行式リフトなど難易度の高い福祉用具の実践を行う。睡眠の原理や不眠の要素を理解し、適切な安眠の支援を学ぶ。※介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。

《授業の到達目標》
・移乗や移動の介助をする際に根拠に基づき、実践することができる。・利用者の潜在能力を活用し、利用者の状況に応じた移動や移乗の介助ができる。・移乗や移動に関する福祉用具、福祉車両について理解し、安全に活用することができる。・休息や睡眠の原理について理解し、安眠に適する環境整備や寝具の選択などの支援ができる。

《成績評価の方法》
実技８０％
レポート１０％
授業の取組１０％

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。レポート課題は、２週間以内にコメントを返却する。

《成績評価基準》
・移乗や移動の介助をする際に根拠に基づき、実践することができたか。・利用者の潜在能力を活用し、利用者の状況に応じた移動や移乗の介助ができたか。・移乗や移動に関する福祉用具、福祉車両について理解し、安全に活用することができたか。・休息や睡眠の原理について理解し、安眠に適する環境整備や寝具の選択などの支援ができたか。

《参考図書》
最新介護福祉士養成講座6　生活支援技術Ⅰ　中央法規出版、
写真でわかる移乗・移動ケア　ナツメ社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた移動の介護（基本的な介助の復習）	予習：基本的な技術の復習を行っておく。（30分） 復習：学んだ内容をノートにまとめる。（30分）
2	休息・睡眠の介護（睡眠のメカニズム）	予習：睡眠について考えてみる。（30分） 復習：学んだ内容をノートにまとめる。（30分）
3	休息・睡眠の介護（ポジショニングについて）	予習：寝返りについて考えてみる（30分） 復習：学んだ内容をノートにまとめる。（30分）
4	自立に向けた移動の介護（多職種との連携）	予習：多職種について調べてみる。（30分） 復習：学んだ内容をノートにまとめる。（30分）
5	福祉用具の意義と活用（福祉車両について）	予習：福祉車両について調べておく。（30分） 復習：福祉車両についてレポートにまとめる。（30分）
6	自立に向けた移動の介護（状況に応じた介助）	予習：利用者に応じた介助方法を考えてみる。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
7	自立に向けた移動の介護（移乗介助）	予習：介助時の根拠をまとめておく。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
8	福祉用具の意義と活用（屋外での車椅子演習）	予習：車椅子介助の注意点を確認しておく。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
9	自立に向けた移動の介護（屋外での演習）	予習：視覚障害者の誘導と介助時の注意点を確認しておく。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
10	福祉用具の意義と活用（福祉用具の活用）	予習：スライディングシートについて調べておく。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
11	福祉用具の意義と活用（福祉用具の活用）	予習：介護リフトについて調べておく。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
12	自立に向けた移動の介護（状況に応じた介助）	予習：移乗介助時の環境を考えてみる。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
13	自立に向けた移動の介護（振り返り）	予習：介助方法が理解できていない部分を明確にしておく。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
14	自立に向けた移動の介護（まとめ）	予習：今までの資料を確認しておく。（30分） 復習：支援の方法や根拠をまとめる。（30分）
15	自立に向けた移動の介護（まとめ）	予習：今までの資料を確認しておく。（30分） 復習：授業全体で学んだ内容をまとめる。（30分）

《専門科目》

科目名	生活支援技術（食事）				
担当者氏名	古賀　啓之、山本　恭大				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
食事についての基本的な知識を学ぶ。
利用者に合わせた食事の介助と、口腔ケアについて演習を行う。
福祉用具の活用と環境整備による、自立を支援する介助を学ぶ。

《授業の到達目標》
①食事の意義と目的を理解し、根拠を持って介助が行える。
②食事介助の基本的な技術を身に付け、利用者の状況に合わせた介助が実践できる。
③自立支援の視点を養い、福祉用具の活用と環境整備ができる。
※この授業は介護福祉士として実践経験のある教員が担当する。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　10%
課題　%　実技　70%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
質問・相談がある場合、授業後適宜対応する。
試験後、講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
①②③レポートと実技試験による評価

《参考図書》
最新介護福祉士養成講座７　第2版
「生活支援技術Ⅱ」　中法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた食事の介護(オリエンテーション)	予習内容　シラバスの確認　３０分 復習内容　オリエンテーションの内容の振り返り　３０分
2	自立に向けた食事の介護(意義・目的)	予習内容　自分の食事の傾向について考える　３０分 復習内容　食事の目的についてまとめる　３０分
3	自立に向けた食事の介護(意義・目的)	予習内容　食事の個別性について考える　３０分 復習内容　食事の必要性についてまとめる　３０分
4	自立に向けた食事の介護(姿勢とリスク)	予習内容　自分の食事の姿勢についてまとめる　３０分 復習内容　望ましい姿勢についてまとめる　３０分
5	自立に向けた食事の介護(姿勢とリスク)	予習内容　食事の際のリスクについて調べる　３０分 復習内容　食事の際のリスクについてまとめる　３０分
6	自立に向けた食事の介護(様々な食事形態)	予習内容　どのような食事形態があるか調べる　３０分 復習内容　介護食事についてまとめる　３０分
7	自立に向けた食事の介護(様々な食事形態)	予習内容　水分のとろみについて調べる　３０分 復習内容　とろみのついた水分について感想をまとめる　３０分
8	自立に向けた食事の介護(環境整備)	予習内容　自分の食事をとる環境について考える　３０分 復習内容　なぜ食事環境を整備するのかまとめる　３０分
9	自立に向けた食事の介護(環境整備)	予習内容　施設・病院の食事環境について調べる　３０分 復習内容　環境の整え方についてまとめる　３０分
10	自立に向けた食事の介護(口腔ケア)	予習内容　口腔ケアについて調べる　３０分 復習内容　口腔ケアのやり方についてまとめる　３０分
11	自立に向けた食事の介護(福祉用具)	予習内容　福祉用具について調べる　３０分 復習内容　自分で摂取する意義についてまとめる　３０分
12	自立に向けた食事の介護(状況に応じた介護)	予習内容　食事介助について調べる　３０分 復習内容　演習内容を振り返り　３０分
13	自立に向けた食事の介護(まとめ)	予習内容　介護技術を振り返り、苦手な部分をまとめておく　３０分 復習内容　演習で習得できなかった技術の練習　３０分
14	振り返り・まとめ	予習内容　演習において苦手な部分を確認し、改善する　３０分 復習内容　演習のポイントや留意点をまとめる　３０分
15	振り返り・まとめ	予習内容　演習において苦手な部分を確認し、改善する　３０分 復習内容　授業全体を振り返り、まとめる　３０分

《専門科目》

科目名	生活支援技術（ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ）				
担当者氏名	山本　恭大				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
・レクリエーションを行う目的や効果などを学ぶ。
・レクリエーションの多様さを理解し利用者のニーズに応じたレクリエーションを学ぶ。
・利用者が自発的に参加・活動に繋がる方法をを学ぶ。
※この授業は介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。

《授業の到達目標》
①レクリエーションの意義や目的を理解することができる。
②対象者や目標にあわせたレクリエーション演習を計画・実践することができる。
③実践で行うことができるレクリエーションを習得することができる。
④利用者の今までの生活歴や背景などを基に、必要な支援を検討し、必要な援助を提案できる

《成績評価の方法》
まとめ　30%
授業の取組　70%（授業中制作物の提出状況等）

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業中に課題を出した場合は、原則として2週間後に評価して返却する。
課題が演習の準備だった場合は、演習の内容を授業中に評価してフィードバックとする。

《成績評価基準》
①④「まとめ」によって評価する。
②③授業中の取り組みの様子を数値化して評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション・信頼関係づくりの方法	予習：信頼とはなにか考える。（30分） 復習：信頼関係について考えた内容をまとめる（30分）
2	状況別に合わせたレクリエーション	予習：手だけで行える運動を考えてみる。（30分） 復習：学んだ内容を自宅で練習する（30分）
3	個人・集団で行うレクリエーション	予習：人数別で行うゲームを考えてみる。（30分） 復習：行う時のシュミレーションをして整理する。（30分）
4	主体的に楽しむ力を育むアクティビティ	予習：主体的に動くために何が必要か考える。（30分） 復習：学んだ内容をまとめる。（30分）
5	自主的に楽しむ力を育むアクティビティ	予習：ぬりえや習字等施設で実施されるレクリエーションを調べる。（30分） 復習：学んだ内容をまとめる。（30分）
6	アクティビティ活動の演習	予習：実習での自己紹介の意味について考える。（30分） 復習：学んだ内容をまとめる。（30分）
7	アクティビティ活動の演習	予習：作品の工夫点を考える。（30分） 復習：学んだ内容をまとめる。（30分）
8	アクティビティ活動の演習	予習：作品の完成形を考える。（30分） 復習：作品を仕上げての感想・改善点をまとめる。（30分）
9	利用者の意欲を引き出すアクティビティ	予習：高齢者になった時の生活を考える。（30分） 復習：学んだ内容をまとめる。（30分）
10	利用者の意欲を引き出すアクティビティ	予習：自分が高齢者になったと想定したレク計画を考える。（30分） 復習：学んだ内容をまとめる。（30分）
11	利用者の意欲を引き出すアクティビティ	予習：寄り添うレクリエーションについて考える。（30分） 復習：学んだ内容をまとめる。（30分）
12	レクリエーション活動の演習	予習：レクリエーション計画をたてる。（30分） 復習：感想をまとめる。（30分）
13	レクリエーション活動の演習	予習：レクリエーション計画をたてる。（30分） 復習：感想をまとめる。（30分）
14	レクリエーション活動の演習	予習：レクリエーション計画をたてる。（30分） 復習：感想をまとめる。（30分）
15	15 まとめ	予習：これまでの資料を確認する。（30分） 復習：学んだことをまとめる。（30分）

《専門科目》

科目名	介護過程Ⅰ				
担当者氏名	川井　小百合、折居　明日香				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
・「客観的で科学的な根拠のある介護過程を展開できるようになる」ための基礎知識を学ぶ。
・介護する上で重要な考え方を、様々な事例をもとに具体的に考える力を養う。
・この授業は介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》
①介護過程の意義・目的・展開方法を理解することができる。
②情報収集・アセスメントの視点を学び、事例をとおして記述することができる。
③他科目で学習した知識・技術を統合して、自立に向けた介護計画を立案することができる。

《成績評価の方法》
課題　90%
授業の取組　10%

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。

《成績評価基準》
講義内容に応じた課題により、総合的に評価する。

《参考図書》
「介護過程」中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 実習段階での課題確認	予習：「実習要綱」で各実習段階での課題を確認する(30分) 復習：講義内容について復習する(30分)
2	介護過程の意義と基礎的理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
3	生活課題・ニーズ・課題の優先順位	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
4	情報収集	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
5	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
6	情報収集の実践	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
7	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
8	「介護過程実習報告会」の聴講	予習：報告会の資料を読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
9	アセスメントの理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
10	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
11	アセスメントの実践	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
12	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
13	介護計画の立案・実施・評価の理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
14	介護計画の立案・実施・評価の実践	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	実習指導Ｂ				
担当者氏名	折居　明日香、中野　幹子、一山　幸子、川井　小百合、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護実習、総合演習ＩＢと組み合わせた学習で、実習の準備と実習に必要な記録物の記述方法、実習施設の基礎知識について学ぶ。介護実習の目標設定や実習後の自己の課題を抽出し、専門職としての態度や姿勢を養う。巡回教員ごとの個別指導を行い、個人の学習状況に応じた指導を実施する。

《授業の到達目標》
①実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設ついての理解を深め、各領域で学習した知識と技術を統合し、反映した内容を記録物に記述することができる。
②実習における目標や自己の課題を明確にし、個人ワークやグループワークで考える力を養うことができる。

《成績評価の方法》
課題　60%
授業の取組　30%
その他（提出物）　10%

《教科書》
適宜プリントを配布する。
本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題や実習記録物は添削後に返却し、担当教員が個別指導時に解説を行う。

《成績評価基準》
①実習記録物に関しては、評価表を用いて実習担当教員ごとで採点、評価を行う。
②授業内で出す課題に対して、自己の考えをレポートや課題用紙にまとめ、発表や解答することができる。

《参考図書》
「介護実習で困らないためのＱ＆Ａ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：シラバスを確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
2	知識と技術の統合 （実習の意義と目的）	予習：実習要綱を確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
3	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：実習指導Ａで配布されたプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
4	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
5	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
6	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
7	知識と技術の統合（事前オリエンテーション）	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
8	知識と技術の統合 （カンファレンス）	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
9	知識と技術の統合 （実習直前指導）	予習：実習要綱を確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
10	知識と技術の統合 （実習直後指導）	予習：実習要綱を確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
11	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
12	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
13	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
14	知識と技術の統合 （実習記録物の指導）	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
15	まとめ	予習：授業を振り返り、疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容の要点をまとめる。（30分）

《専門科目》

科目名	芸術療法				
担当者氏名	眞弓　真由美、米倉　裕子、中野　幹子、一山　幸子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】(眞弓)5コマ：アートセラピー技法を用いて作品制作を行う。楽しさ・カタルシスや制作を通した他者とのコミュニケーションを体験し制作後は現場で制作を行う際に必要なサポートを考えワークシートに記入する(中野,一山)3コマ：器楽演奏を体験する(米倉)7コマ：テキストや資料等を使用しワークショップを経験することで音楽の特性を系統立てて理解する。また多くの楽曲や楽器に実際に触れて表現をする

《授業の到達目標》

(眞弓)○アートセラピー技法を用いた制作○制作の楽しさやカタルシス(心の浄化)の体感、制作を通した他者とコミュニケーション○制作を現場で実施する際に必要なサポートの理解(中野,一山)器楽演奏の発表会を行う(米倉)医療・福祉・教育の現場で効果的なツールとして重要視されている音楽療法の概要と現状を説明できる。またそれに使用されている音楽の特性を理解し将来の自分のプロフェッショナルに適応することができる

《成績評価の方法》

筆記試験		(米倉)25%	
レポート	(眞弓)30%	(米倉)30%	(中野,一山)30%
課題	(眞弓)60%		
実技		(米倉)20%	(中野,一山)40%
授業の取組	(眞弓)10%	(米倉)25%	(中野,一山)30%

《教科書》

(眞弓・中野・一山)プリントを配布する
(米倉)「臨床が変わる！イラストでわかる目からウロコの音楽活動」(2014)三輪書店「歌のミュージックランド」教育芸術社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

(眞弓)作品鑑賞会としてフィードバックの時間を設け、作品課題やレポートに対してコメントをする
(中野,一山)器楽演奏の練習及び発表会のフィードバックを行う。
(米倉)希望があった場合、フィードバックの講評や解説時間を設ける。

《成績評価基準》

(眞弓)①作品課題の評価②レポートの内容評価③授業への取り組みに対する熱意の評価
(中野,一山)①器楽演奏の発表会、②レポート課題、③授業への取り組み姿勢態度の評価
(米倉)期末試験・クラス内発表・クラス内提出物・受講態度

《参考図書》

(眞弓)介護・福祉・医療にかかわる人のためのアートセラピー入門～認知症にも効果が認められた芸術療法～(2007)ひかりのくに株式会社　(中野,一山)ヒットソングベスト曲集2022-2023

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	芸術療法:会話を生みだすアートセラピー技法	予習：授業計画を見て、内容を把握する（30分） 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る（30分）
2	優劣の出ないアートセラピー技法	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する（30分） 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る（30分）
3	アートセラピー技法を使った回想法	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する（30分） 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る（30分）
4	作品をQOLをあげるものに仕上げる	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する（30分） 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る（30分）
5	作品鑑賞会と全体の振り返り(フィードバック)	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する（30分） 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る（30分）
6	器楽演奏(1)	予習：配布するプリントを読んで、準備物や選曲などについて理解する（30分） 復習：配布したプリントを読んで授業を振り返り、選曲を練習する（30分）
7	器楽演奏(2)	予習：配布するプリントを読んで、準備物や選曲などについて理解する（30分） 復習：配布したプリントを読んで授業を振り返り、選曲を練習する（30分）
8	器楽演奏の発表会	予習：配布するプリントを読んで、器楽演奏の選曲を練習する（30分） 復習：配布したプリントを読んで、授業を振り返る（30分）
9	イントロダクション／療法的音楽活動について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
10	我々をとりまく音の特性について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
11	社会における音楽の機能について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
12	高齢者を対象にした音楽活動について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
13	児童を対象にした音楽活動について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
14	音楽療法の現場について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
15	フィードバック	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・30分

《専門科目》

科目名	介護の基礎Ⅱ				
担当者氏名	田中　優子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
【本学独自の選択科目】
介護の各場面ごとにまとめられた専門用語の意味・読み方・漢字をくり返し学習していく。
日常会話ではなく、介護現場や施設実習でよく使われる専門用語について学習していく。

《教科書》
外国人のためのやさしく学べる介護のことば

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
提出課題について確認後２週間以内に返却する

《授業の到達目標》
・介護・福祉の現場に関する専門用語がわかる。
・介護の場面に適した専門用語が使用でき、会話ができる。
・介護の事例問題を読みその内容がわかる。
・介護の制度や疾患や治療についてわかる。

《成績評価基準》
・介護・福祉の現場に関する専門用語が理解できたか。
・介護の場面に適した専門用語が使え会話ができたか。
・介護の事例問題を読んでしの内容が理解できたか。
・介護の制度や疾患や治療について理解できたか。

《成績評価の方法》
筆記試験　８０％　レポート　１０％
課題　％　実技　％
授業の取組　１０％
その他（　　）　％

《参考図書》
介護の日本語
公益社団法人日本介護福祉士会

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護の仕事 介護で使う言葉	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
2	バイタルチェック	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
3	病気症状に関する言葉 睡眠に関する言葉	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
4	薬の種類に関する言葉 薬に関する言葉	予習：テキストを読んで問題を解いておく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
5	からだに関する言葉 人間のからだのしくみ	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
6	確認テスト	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で解いた問題をもう一度復習する。（３０分）
7	生活援助に関する言葉① 家事・環境	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
8	生活援助に関する言葉② 身支度	予習：テキストを読んで問題を解いておく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
9	生活援助に関する言葉③ 身体介護	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
10	生活援助に関する言葉④ 移動・移乗	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
11	生活援助に関する言葉⑤ 食事	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
12	生活援助に関する言葉⑥ 入浴	予習：テキストを読んで問題を解いておく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
13	生活援助に関する言葉⑦ 排泄	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
14	学びの振り返り①	予習：テキストを読んでおく。（３０分） 復習：授業で学んだ内容を復習する。（３０分）
15	学びの振り返り②	予習：テキストを読んで問題を解いておく。（３０分） 復習：授業で解いた問題をもう一度解いてみる。（３０分）

《専門科目》

科目名	検定読解Ⅱ				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《専門科目》

科目名	検定文法Ⅱ				
担当者氏名	入江　千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
留学生が日本の生活で必要な日本語能力を上げるためには、文法を身につけることが必要になります。授業の中で、文法の理解を深めながら繰り返し練習をしていきましょう。
この授業は、復習がとても重要です。授業のあとは必ず復習をしてください。また毎回の小テストを通して、自分の苦手なところをよく確認し、日本語能力のレベルアップにつなげてください。

《授業の到達目標》
・授業で学んだ日本語文法をよく理解し、文を作ることができる。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》
・期末試験50%
・小テスト・課題30%
・授業への取り組み20%

《教科書》
『TRY！日本語能力試験N2　文法から伸ばす日本語』（アスク出版）
（レベルによってN2またはN3）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
・毎週小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》
・まじめに授業に取り組んでいたか。
・授業で取り上げた文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 文法　導入・練習	予習：テキストの内容を確認／過去に学んだ文法の復習をしておく。（30分） 復習：第1回授業内容の復習（30分）
2	小テスト 文法　導入・練習	予習：第2回授業内容の予習（30分） 復習：第2回授業内容の復習（30分）
3	小テスト 文法　導入・練習	予習：第3回授業内容の予習（30分） 復習：第3回授業内容の復習（30分）
4	小テスト 文法　導入・練習	予習：第4回授業内容の予習（30分） 復習：第4回授業内容の復習（30分）
5	小テスト 文法　導入・練習	予習：第5回授業内容の予習（30分） 復習：第5回授業内容の復習（30分）
6	小テスト 文法　導入・練習	予習：第6回授業内容の予習（30分） 復習：第6回授業内容の復習（30分）
7	小テスト 文法　導入・練習	予習：第7回授業内容の予習（30分） 復習：第7回授業内容の復習（30分）
8	小テスト 文法　導入・練習	予習：第8回授業内容の予習（30分） 復習：第8回授業内容の復習（30分）
9	小テスト 文法　導入・練習	予習：第9回授業内容の予習（30分） 復習：第9回授業内容の復習（30分）
10	小テスト 文法　導入・練習	予習：第10回授業内容の予習（30分） 復習：第10回授業内容の復習（30分）
11	模擬試験 文法　導入・練習	予習：第11回授業内容の予習（30分） 復習：第11回授業内容の復習（30分）
12	小テスト 文法　導入・練習	予習：第12回授業内容の予習（30分） 復習：第12回授業内容の復習（30分）
13	小テスト 文法　導入・練習	予習：第13回授業内容の予習（30分） 復習：第13回授業内容の復習（30分）
14	小テスト 文法　導入・練習	予習：第14回授業内容の予習（30分） 復習：第14回授業内容の復習（30分）
15	総復習 総まとめ	予習：第15回授業内容の予習（30分） 復習：第15回授業内容の復習（30分）

《専門科目》

科目名	検定文字語彙Ⅱ				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

1 年 通 年

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野　幹子、一山　幸子、川井　小百合、折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニュケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。

・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《授業の到達目標》

・実習施設の概要を学ぶことができる。

・利用者を尊重したコミュニュケーションや基本的な生活支援技術を見学することができる。

・利用者の情報を収集することができる。

・利用者の生活と地域との関わりや地域での生活を支える施設事業所の役割を理解することができる。

・記録物の基本的な書き方が理解できる。

《成績評価の方法》

実習の取り組み、実習課題（提出・発表）を総合的に評価する。

《教科書》

本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《成績評価基準》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習（Ⅰ）－１　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野　幹子、一山　幸子、川井　小百合、折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニュケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。
・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《授業の到達目標》
・実習施設の概要を学ぶことができる。
・さまざまな利用者に応じたコミュニュケーションや基本的な生活支援技術を見学し、実施することができる。
・受け持ち利用者に関する情報を収集し、生活上の問題となる状況に気づき、根拠に基づいた理由や生活課題に必要な介護を考え、記述することができる。
・実習生としての立場を自覚した言動を身につける。

《成績評価の方法》
本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《教科書》
本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《成績評価基準》
本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習（Ⅰ）－2 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。

2 年 前 期

《基礎科目》

科目名	社会福祉援助技術				
担当者氏名	一山　幸子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】①1・2年生交流会に協調性を持って準備・実施する。②担任の個別面談や現場職員の施設説明会、卒業生就職座談会を通して就職活動計画書、履歴書を作成する。③ロールプレイ等の体験やシェアリングを通して、人間関係と心理、対人関係とコミュニケーション、コミュニケーション技法の基礎、組織におけるコミュニケーションを学ぶ。この授業は社会福祉士、介護福祉士の実務経験のある教員が担当。

《授業の到達目標》
①1・2年生交流会を協調性を持って準備、実施できる。②担任の個別面談や現場職員の施設説明会、卒業生就職座談会を通して各自の就職活動や編入学等の進路計画書また、履歴書を作成することができる。③ロールプレイを通して人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できる。「人間関係とコミュニケーション」領域の国家試験対策学習を計画的に進めることができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　60　%　レポート　20　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　20　%　その他（　　）　　%

《教科書》
見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022、中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
就職活動計画書及び履歴書は、各担任教員が添削指導します。レポート課題は、クラスメイトの意見を授業で紹介したり、添削するなどをしてフィードバックします。

《成績評価基準》
①1・2年生交流会を協調性を持って準備、実施することができる。②担任による個別面談や現場職員による施設の説明、卒業生による就職座談会を通して、各自の就職活動計画書・履歴書を作成することができる。③「人間関係の形成とコミュニケーションの基礎」について理解し説明することができる。

《参考図書》
介護福祉士養成講座１　人間の理解　中央法規
人間関係づくりとコミュニケーション　金子書房
介護福祉士過去５年問題集2024年　成美堂

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	対人関係とコミュニケーション：学科交流会企画	予習：レクリエーション、アクティビティの授業を予習する（2時間） 復習：レクリエーション、アクティビティの授業を復習する（2時間）
2	対人関係とコミュニケーション：学科交流会	予習：レクリエーション、アクティビティの授業を予習する（2時間） 復習：レクリエーション、アクティビティの授業を復習する（2時間）
3	人間関係と心理：自己覚知・他者理解	予習：ジョハリの窓について予習する（2時間） 復習：ジョハリの窓について復習する（2時間）
4	人間関係と心理：自己覚知・他者理解	予習：自己覚知・他者理解・自己開示について予習する（2時間） 復習：自己覚知・他者理解・自己開示について復習する（2時間）
5	組織におけるコミュニケーション	予習：各自の進路を調べる・履歴書を作成する（2時間） 復習：各自の進路を考え、履歴書を作成・完成させる（2時間）
6	組織におけるコミュニケーション	予習：各自の進路を調べる・履歴書を作成する（2時間） 復習：各自の進路を考え、履歴書を作成・完成させる（2時間）
7	コミュニケーション技法の基礎	予習：相談や意見を述べやすい環境の整備について調べる（2時間） 復習：相談や意見を述べやすい環境の整備について復習する（2時間）
8	コミュニケーション技法の基礎：施設長より	予習：言語・非言語コミュニケーションについて調べる（2時間） 復習：言語・非言語コミュニケーションについて復習し理解する（2時間）
9	コミュニケーション技法の基礎	予習：バイスティックの７原則、相談面接の基礎について調べる（2時間） 復習：バイスティックの７原則、相談面接の基礎について復習し理解する（2時間）
10	対人関係とコミュニケーション	予習：コミュニケーションの意義・目的について予習する（2時間） 復習：コミュニケーションの意義・目的について復習する（2時間）
11	対人関係とコミュニケーション：卒業生講話	予習：先輩に質問したいことを考えて書き出す（2時間） 復習：先輩から聴いたことやアドバイスをまとめる（2時間）
12	対人関係とコミュニケーション	予習：実習場面の対人関係を振り返り予習する（2時間） 復習：ロールプレイを振り返り復習する（2時間）
13	人間関係と心理：ロールプレイ	予習：グループダイナミックスについて予習する（2時間） 復習：グループダイナミックスについて復習し理解する（2時間）
14	人間関係と心理：ロールプレイ	予習：パーソナリティ、ラポールについて調べる（2時間） 復習：パーソナリティ、ラポールについて理解し復習する（2時間）
15	総括・レポート作成	予習：前期の学習を振り返り、要点を記録する（2時間） 復習：前期の学習をまとめ、総復習する（2時間）

《基礎科目》

科目名	高齢者健康学				
担当者氏名	城戸　由香里				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
老化や高齢者に多い症状と疾患と生活上の留意点を学ぶ。介護福祉士として、保健医療福祉の連携がを図ることができるように必要な医学的知識を学ぶ。基本的には教科書にそった内容のパワーポイントを使用して授業を行います。

《授業の到達目標》
1．高齢者の健康を学ぶことができる。
2．高齢にともなう身体的な変化と生活への影響を学ぶことができる。
3。高齢者に多い疾患と症状と生活上の留意点について説明できる。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%　レポート　10%
授業の取組　10%

《教科書》
最新介護福祉士養成講座12　発達と老化の理解

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
期末試験、レポート提出、発表を総合的にフィードバックする。

《成績評価基準》
期末筆記試験と小テスト、授業への取り組みを総合的に評価する。

《参考図書》
配布プリント

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	評価説明 健康長寿・高齢者の疾患	今後の授業の流れ、評価方法の説明 予習：テキストp188～201（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
2	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp202～217（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
3	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp217～223（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
4	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp223～227（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
5	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp228～236（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
6	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp236～246（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
7	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp246～258（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
8	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp259～265（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
9	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp265～277（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
10	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：テキストp277～293（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
11	老化と身体的な変化と生活への影響	予習：テキストp110～142（1時間）　復習：次回のテスト準備（1時間）
12	老化と心理的な変化と生活への影響	予習：テキストp143～163（1時間）　復習：次回の小テスト準備（1時間）
13	老化と心理的な変化と生活への影響	予習：テキストp164～185（1時間）　復習：次回のテスト準備（1時間）
14	高齢者と健康 保険医療職との連携	予習：テキストp294～299（1時間）　復習：次回のテスト準備（1時間）
15	総括・確認テスト	予習：14回分の復習（1時間）　復習：老化と健康の重要性（1時間）

《専門科目》

科目名	介護の基本III				
担当者氏名	川井　小百合				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護現場で必要となる安全対策や多職種・地域との連携などについて理解を深めていきます。
介護が必要な人を支えるためには何が大切なのか、しっかりと考えていきましょう。

《授業の到達目標》
①介護を必要とする人の生活の多様性を理解し、その生活を支援する介護サービスについて説明できる
②多職種の役割と専門性、チームアプローチの展開について理解することができる
③介護における安全確保のための基礎的な知識や事故への対応を理解し、説明できる

《成績評価の方法》
筆記試験　80%
レポート　10%
授業の取組　10%

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは確認後に返却し、必要に応じて授業時に解説する。

《成績評価基準》
講義内容についてのレポート・まとめのミニテストにより評価する。

《参考図書》
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護を必要とする人の理解	予習：「介護の基本Ⅰ」の講義内容を再確認する(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
2	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ	予習：介護保険制度について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
3	介護サービスの概要	予習：介護サービスの概要について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
4	介護保険制度の概要	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
5	１～４までのまとめ	予習：1～4までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
6	協働する多職種の役割と機能	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
7	多職種の役割と専門性の理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
8	協働する多職種の役割と機能	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
9	介護従事者の安全	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
10	介護における安全の確保	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
11	リスクマネジメント・事故防止・感染予防	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
12	６～１１までのまとめ	予習：6～11までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
13	地域包括ケアシステムと地域連携	予習：地域包括ケアシステムについて調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
14	ケアマネジメント	予習：ケアマネジメントについて調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	介護の基本Ⅳ				
担当者氏名	一山　幸子、川井　小百合、田邉　伸一、山本　恭大				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】1）知的障害の医学的側面の基礎的知識を確認する。2）①利用者像、②アセスメント、③介護計画（個別支援計画）・実施・評価の3種類の課題シートを事例 映像視聴を行い作成する。3）知的障害者施設の生活支援員より知的障害者支援の実際について話を聴く。4）自分で作成した個別支援計画をロールプレイによって実施・評価する。この科目は介護福祉士、社会福祉士の実務経験がある教員が担当する。

《授業の到達目標》
1）知的障害の医学的側面の基礎的知識を確認する。2）①利用者像、②アセスメント、③介護計画（個別支援計画）・実施・評価の3種類の課題シートを事例 DVD 視聴を行い作成する。3）知的障害者施設の生活支援員より知的障害者支援の実際について話を聴く。4）自分で作成した個別支援計画をロールプレイによって実施・評価する。これらの習得により介護実習において自分自身で介護計画の立案・実施・評価ができる。

《成績評価の方法》

筆記試験		%	レポート	%
課題	70	%	実技	%
授業の取組	30	%	その他（　　）	%

《教科書》
最新介護福祉士養成講座14「障害の理解」、中央法規
見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022、中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
各回で課題シートを提出してもらい、添削をして、次回授業で返却します。
知的障害者の介護計画（個別支援計画）と、高齢者の介護計画の違いについて皆さんが書いた課題シートを紹介しながらフィードバックします。

《成績評価基準》
①利用者像を作成することができる。
②アセスメントを作成することができる。
③介護計画（個別支援計画）を作成することができる。
④介護計画（個別支援計画）の実施・評価を作成することができる。

《参考図書》
知的障害のある子どもの保育、中央法規

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護サービス：利用者像	予習：知的障害の定義・支援方法の確認（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）
2	介護サービス：利用者像	予習：介護過程（利用者像の書き方）の確認（2時間） 復習：介護過程（利用者像の書き方）の確認（2時間）
3	介護サービス：利用者像	予習：知的障害の定義・支援方法の確認（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）
4	介護サービス：アセスメント	予習：知的障害の定義・支援方法の確認（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）
5	介護サービス：アセスメント	予習：介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間） 復習：介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間）
6	介護サービス：アセスメント	予習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）
7	介護サービス：アセスメント	予習：介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間） 復習：介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間）
8	介護サービス：介護計画（個別支援計画）	予習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）
9	介護サービス：介護計画（個別支援計画）	予習：介護過程（介護計画の書き方）の復習（2時間） 復習：介護過程（介護計画の書き方）の復習（2時間）
10	介護サービス：介護計画（個別支援計画）	予習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）
11	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）	予習：介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間） 復習：介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間）
12	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）	予習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）
13	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）	予習：介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間） 復習：介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間）
14	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）	予習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間） 復習：知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）
15	まとめ	予習：介護過 程（の書き 方）の復習（2時間） 復習：介護過 程（の書き 方）の復習（2時間）

《専門科目》

科目名	生活支援技術（清潔）				
担当者氏名	田邉　伸一、山本　恭大				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】入浴、清潔、身支度の場面において、対象者の能力を活用、発揮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識、技術を習得することを目指す。また、実践の根拠について、説明できる能力を身につける。
※この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。

《授業の到達目標》
・入浴･清潔保持の意義意義･目的を理解し、安全で心地よい介助が実践できる。・利用者の健康状態や状況を把握し、潜在能力を活かした基本的な整容･身支度･衣服の着脱の技術が習得できる・自立に向けた入浴、清潔保持、身支度に関連した福祉用具について理解･活用できる。・支援の根拠を説明することができる。

《成績評価の方法》
実技８０％
レポート１０％
授業の取組１０％

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。レポートは、２週間以内にコメントを入れて返却する。

《成績評価基準》
・入浴･清潔保持の意義意義･目的を理解し、安全で心地よい介助が実践できたか。・利用者の健康状態や状況を把握し、潜在能力を活かした基本的な整容･身支度･衣服の着脱の技術が習得できたか。・自立に向けた入浴、清潔保持、身支度に関連した福祉用具について理解･活用できたか。・支援の根拠を説明することができたか。

《参考図書》
最新介護福祉士養成講座6　生活支援技術Ⅰ　中央法規出版、看護技術がみえるＶｏｌ.１基礎看護技術　大日本印刷株式会社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた入浴・清潔保持の介護	予習：清潔とはなにか考えてみる。（30分） 復習：意義と目的を自分なりにまとめる。（30分）
2	自立に向けた入浴・清潔保持の介護（手浴介助）	予習：手浴・足浴について調べておく。（30分） 復習：手浴・足浴時の注意店・改善点をまとめておく。（30分）
3	自立に向けた身支度の介護（爪切り）	予習：爪について調べておく。（30分） 復習：爪切り時の注意店・改善点をまとめておく。（30分）
4	自立に向けた入浴・清潔保持の介護（洗髪介助）	予習：洗髪時の注意点を考えてみる。（30分） 復習：洗髪時の手順をまとめて整理しておく。（30分）
5	自立に向けた入浴・清潔保持の介護（洗髪介助）	予習：洗髪時の工夫を考えてみる。（30分） 復習：洗髪時の注意店・改善点をまとめておく。（30分）
6	自立に向けた入浴・清潔保持の介護（清拭介助）	予習：清拭とはなにか調べておく。（30分） 復習：清拭の手順・注意点をまとめておく。（30分）
7	自立に向けた入浴・清潔保持の介護（入浴介助）	予習：機械浴について調べておく。（30分） 復習：機械浴の注意店・改善点をまとめておく。（30分）
8	自立に向けた身支度の介護（意義と目的）	予習：身支度について考えてみる。（30分） 復習：身支度についてレポートにまとめる。（30分）
9	自立に向けた身支度の介護（座位時の着脱介助）	予習：着脱時の難しい点を考えてみる（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
10	自立に向けた身支度の介護（臥床時の着脱介助）	予習：臥床時の着脱の手順を考えてみる。（30分） 復習：着脱の手順をまとめて整理しておく。（30分）
11	自立に向けた身支度の介護（臥床時の着脱介助）	予習：臥床時の着脱の注意点を確認しておく。（30分） 復習：着脱の注意店・改善点をまとめておく。（30分）
12	自立に向けた身支度の介護（浴衣の着脱介助）	予習：浴衣について調べておく。（30分） 復習：浴衣の着脱の手順をまとめて整理しておく。（30分）
13	自立に向けた身支度の介護（振り返り）	予習：介助方法が理解できていない部分を明確にしておく。（30分） 復習：演習で出来なかった技術を練習する。（30分）
14	自立に向けた身支度の介護（まとめ）	予習：今までの資料を確認しておく。（30分） 復習：支援の方法や根拠をまとめる。（30分）
15	自立に向けた身支度の介護（まとめ）	予習：今までの資料を確認しておく。（30分） 復習：授業全体で学んだ内容をまとめる。（30分）

《専門科目》

科目名	生活支援技術（排泄）				
担当者氏名	山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
排泄支援は、移動・清潔・着脱などの支援技術を含む総合的技術である。利用者のプライバシーや羞恥心への配慮に代表される、心理的な側面。便秘などの身体状況に対応するための医学的知識の習得を目指す。
※この授業は介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づいて授業を行う。

《授業の到達目標》
利用者の残存能力を活かした排泄の介助を考え、排泄の社会的・文化的・心理的・身体的意義を説明できるようになる。
②排泄自立に向け、利用者の状態に応じた排泄方法と福祉用具を検討し、実践できるようになる。
③排泄に関係する利用者の変化に対応できるようになる。
④排泄に関する医療的知識を学び利用者の状態に応じた留意点に基づいた排泄支援が実践できるようになる。

《成績評価の方法》
実技　80%
授業の取組　20%

《教科書》
必要時にプリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
①欠席数・身だしなみの乱れを数値化して、授業の最初と最後に評価をフィードバックする。
②③④実技テストは13回目の授業で内容を発表し、14・15回目の授業で実施し、試験の講評をもってフィードバックとする。

《成績評価基準》
実技：②③福祉用具の適切な選択、使用ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。
④利用者の状況に応じた排泄介助ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。
授業の取組：①②③④授業中に課した演習回数を達成できたかどうかを「授業の取組」として評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた排泄の介護 （排泄の基礎知識）	予習：一週間の自分の排泄を振り返る。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
2	自立に向けた排泄の介護 （気持ち良い排泄）	予習：１回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
3	自立に向けた排泄の介護 （気持ち良い排泄）	予習：２回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
4	自立に向けた排泄の介護 （排泄用具の活用）	予習：３回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
5	自立に向けた排泄の介護 （排泄用具の活用）	予習：４回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
6	自立に向けた排泄の介護 （排泄用具の活用）	予習：５回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
7	自立に向けた排泄の介護 （変化の兆しと気づき）	予習：６回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
8	自立に向けた排泄の介護 （状況に応じた排泄）	予習：７回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
9	自立に向けた排泄の介護 （状況に応じた排泄）	予習：８回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
10	自立に向けた排泄の介護 （状況に応じた排泄）	予習：９回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
11	自立に向けた排泄の介護 （状況に応じた排泄）	予習：10回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
12	自立に向けた排泄の介護 （状況に応じた排泄）	予習：11回目の授業で伝達する。（30分） 復習：授業中に伝達する。（30分）
13	自立に向けた排泄の介護 （状況に応じた排泄）	予習：これまでの実技演習の実施根拠を考える。（30分） 復習：演習での自分の実技の実施根拠を考える。（30分）
14	自立に向けた排泄の介護 （まとめ・実技テスト）	予習：これまでの実技演習の実施根拠を考える。（30分） 復習：演習での自分の実技の実施根拠を考える。（30分）
15	自立に向けた排泄の介護 （まとめ・実技テスト）	予習：これまでの実技演習の実施根拠を考える。（30分） 復習：演習での自分の実技の実施根拠を考える。（30分）

《専門科目》

科目名	生活支援技術（家事・終末期）				
担当者氏名	折居　明日香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
自立に向けた家事の介護では、具体的な家事支援の介護技術を学ぶ。さらに人生の最終段階における介護では、人生の最終段階におけるケアの意味や死を迎える人の介護、亡くなったあとの介護について学ぶ。

《授業の到達目標》
①家事支援の重要性を学び「人が生きていく」ための支援（技術）を習得することができる。
②人生の最終段階のとらえ方を学び、介護の考え方と介護福祉職の役割を理解することができる。
③人生の最終段階における意思決定の在り方、アセスメントの視点を学ぶことができる。

《成績評価の方法》
課題・レポート　40%
実技　40%
授業の取組　20%

《教科書》
適宜、プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
・実技課題については評価後、コメントをつけて返却する。
・課題やレポートは、添削後に返却する。

《成績評価基準》
①実技課題に関しては、評価表を用いて採点・評価を行う。

②③授業内で出した課題に対して、自己の考えをレポートや課題用紙にまとめ、発表や解答することができる。

《参考図書》
最新介護福祉士養成講座6・7　生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 家事支援の意義と目的	予習：シラバスを確認しておく（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
2	自立に向けた家事の介護①	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
3	自立に向けた家事の介護②	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
4	自立に向けた家事の介護③	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
5	自立に向けた家事の介護④	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
6	自立に向けた家事の介護⑤	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
7	自立に向けた家事の介護⑥	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
8	自立に向けた家事の介護⑦	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
9	自立に向けた家事の介護⑧	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
10	自立に向けた家事の介護⑨	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
11	人生の最終段階における介護①	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
12	人生の最終段階における介護②	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
13	人生の最終段階における介護③	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
14	人生の最終段階における介護④	予習：授業時に配布した予習資料を読み、確認しておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。（30分）
15	まとめ	予習：授業を振り返り、疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容の要点をまとめる。（30分）

《専門科目》

科目名	介護過程ⅡＡ				
担当者氏名	川井　小百合、中野　幹子、一山　幸子、折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護過程の意義や目的について学び、生活支援の考え方と介護過程の必要性を理解する。また、本人の望む生活の実現へ向けた介護過程を展開するための一連のプロセスを学ぶ。
事例を通じ、生活課題の分析を行い、根拠に基づいた介護実践を伴う課題解決の思考過程の力を養う。

《授業の到達目標》
①利用者の情報を収集・整理し、適切な情報を記述することができる。
②利用者の生活上の課題となる状況に気づき、アセスメントにおける情報の解釈・関連付け・統合化を行う（記述する）ことができる。
③生活課題を明確化し、支援内容や方法を考え介護計画の立案・実施・評価・考察を行う（記述する）ことができる。

《成績評価の方法》
レポート　10%
課題　70%
授業の取組　20%

《教科書》
適宜プリントを配布。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は提出後に確認し、返却する。
また、授業内で個別指導や解説を実施する。

《成績評価基準》
記述指導における受講態度・グループや全体での発表内容に加え、課題の提出や内容を採点し、総合的に評価をする。

《参考図書》
「ヘルプマン！」に学ぶ介護過程
八木裕子著　中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護過程の意義と基礎的理解①	予習：介護過程Ⅰで配布したプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
2	介護過程の意義と基礎的理解②	予習：介護過程Ⅰで配布したプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
3	介護過程とチームアプローチ①	予習：介護過程Ⅰで配布したプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
4	介護過程とチームアプローチ②	予習：介護過程Ⅰで配布したプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
5	介護過程の展開の理解①	予習：前回の授業で配布したプリントを再確認する。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
6	介護過程の展開の理解②	予習：介護場面の模擬演技からアセスメントを考えてみる。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
7	介護過程の展開の理解③	予習：アセスメントに関して、質問や疑問点を挙げておく。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
8	介護過程の展開の理解④	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。（30分） 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。（30分）
9	介護過程の展開の理解⑤	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。（30分） 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。（30分）
10	介護過程の展開の理解⑥	予習：介護場面の模擬演技から介護計画を考えてみる。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
11	介護過程の展開の理解⑦	予習：介護場面の模擬演技から介護計画を考えてみる。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
12	介護過程の展開の理解⑧	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。（30分） 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。（30分）
13	介護過程の展開の理解⑨	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。（30分） 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。（30分）
14	介護過程の展開の理解⑩	予習：GWを振り返り、介護計画に記述する内容を考えてみる。（30分） 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。（30分）
15	まとめ	予習：授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく。（30分） 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容の要点をノートにまとめる。（30分）

《専門科目》

科目名	医療的ケアＡ				
担当者氏名	小車　淑子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
医療職と連携のもと、経管栄養や喀痰吸引等の医療的ケアを安全で適確に実施できるよう、必要な知識を学ぶ。
関連する人体の構造や機能を復習しながら、パワーポイントを使用して講義する。

《授業の到達目標》
①医療的ケアを実施するうえで基礎となる、リスクマネジメントについて理解し、説明することができる。
②介護現場で起こりうる、感染の基礎知識と予防対策について理解し、説明することができる。
③健康状態や急変時の状態について理解し対応を理解できる。
④痰の吸引に必要な、呼吸のしくみ・異常・痰の吸引・人工呼吸器について、説明することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%
授業の取組　20%

《教科書》
PP資料プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
単元ごとに復習小テストを実施し、解説する

《成績評価基準》
筆記試験を実施し、授業内容の理解度と授業への取り組みを評価する。

《参考図書》
MINERUVA福祉資格テキスト医療的ケア
竹宮敏子監修　ミネルヴァ書房

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション リスクとは	・配布プリント（2時間）
2	安全な療養生活とリスクマネジメント	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
3	感染予防の基礎知識	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
4	個別の感染症	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
5	個別の感染症	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
6	小テスト①　リスクマネジメント・感染予防	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
7	健康状態の把握 血圧・脈拍	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
8	健康状態の把握 体温・呼吸	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
9	急変状態	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
10	小テスト②　健康状態・急変状態	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
11	高齢者及び障害児者の痰の吸引概論・異常な呼吸	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
12	たんの吸引・人工呼吸器装着者の吸引	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
13	小テスト③痰の吸引 解説	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）
14	まとめ	配布プリント・小テスト①②③（2時間）
15	救急救命法（演習）	配布プリント（2時間）・配布プリント（2時間）

《専門科目》

科目名	医療的ケアＢ				
担当者氏名	中野　幹子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
経管栄養に必要な医療制度や社会保障制度の基本を学び、経管栄養演習により手技を修得できるように指導する。

《教科書》
ミネルヴァ書房「医療的ケア」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
経管栄養の演習チエックによるフィードバック

《授業の到達目標》
1．変動する社会・高齢者人口の増加が介護サービスに与える影響、利用者の尊厳を守り自立を支援、医療と介護の倫理，インフォームド・コンセントを理解できる。
2．職員等の医行為に関連する制度や医療的ケアに関連する職種と介護職員の役割をしることができる。
3.高齢者及び障害児･者の経管栄養の概要を理解できる。
4.高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順を修得できる。

《成績評価基準》
演習チェック試験と授業への取り組みを総合的に評価する。

《成績評価の方法》
レポート　10%
実技　70%
授業の取組　20%

《参考図書》
国家試験ナビ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	15回の授業内容、評価の方法の説明
2	現代社会と利用者の尊厳を守り自立を支援	予習：高齢社会の理解と対象者の尊厳と自立（1時間） 復習：高齢社会の理解と対象者の尊厳と自立（1時間）
3	医療と介護の倫理，インフォームド・コンセント	予習：経管栄養に対する対象者や家族の尊厳と理解（1時間） 復習：インフォームドコンセントを理解する（1時間）
4	介護職員等の医行為に関連する制度と役割	予習：介護保険制度と医療保険制度（1時間） 復習：吸引と制度の関連性（1時間）
5	経管栄養の基礎知識と経管栄養の適応となる状態	予習：経管栄養と疾患（1時間）　復習：消化器疾患と経管栄養（1時間）
6	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順	予習：経管栄養の必要物品と手順（1時間）　復習：手順の理解（1時間）
7	経管栄養の演習：経鼻経管栄養	予習：経鼻経管栄養の手順とポイント（1時間） 復習：手順のポイント理解（1時間）
8	経管栄養の演習：経鼻経管栄養	予習：経鼻経管栄養の手順とポイント（1時間） 復習：手順のポイント理解（1時間）
9	経管栄養の演習：経鼻経管栄養	予習：経鼻経管栄養の手順とポイント（1時間） 復習：手順のポイント理解（1時間）
10	経管栄養の演習：胃瘻栄養	予習：胃瘻栄養の手順とポイント（1時間） 復習：手順のポイント理解（1時間）
11	経管栄養の演習：胃瘻栄養	予習：胃瘻栄養の手順とポイント（1時間） 復習：手順のポイント理解（1時間）
12	経管栄養の演習：胃瘻栄養	予習：胃瘻栄養の手順とポイント（1時間） 復習：手順のポイント理解（1時間）
13	経管栄養の演習チエック	予習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養手順のチェック（1時間） 復習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養の手順のチェック（1時間）
14	経管栄養の演習チエック	予習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養手順のチェック（1時間） 復習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養の手順のチェック（1時間）
15	経管栄養の演習チエック	予習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養手順のチェック（1時間） 復習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養の手順のチェック（1時間）

《専門科目》

科目名	手話				
担当者氏名	福田　九				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》
【介護福祉士選択】
ろう者、手話を必要としている聴覚障害者の暮らし、手話の歴史、聴覚障がいについての基礎知識、ソーシャルワーク哲学を学ぶことによって、ろう者・聴覚障がい者に対する支援技能を高める。手話で日常の会話ができるようにする。

《授業の到達目標》
・手話、手話言語の違いを踏まえて説明できるようにする。
・手話で話せるようにする。（日常会話ができるようになる）

《成績評価の方法》

筆記試験	20	%	レポート	20	%
課題	20	%	実技	20	%
授業の取組	20	%	その他（　　）		%

《教科書》
自作プリント

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
ミニテスト（手話表現、読み取り）については講義中に説明する。課題レポートは添削後、返却する。

《成績評価基準》
本講義では、手話、手話言語の違いを踏まえて説明できる、手話で話せるようにする（日常会話ができるようになる）の2点を評価基準とする。

《参考図書》
授業中に随時、紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	本講義概要及び学習の仕方指導	予習：シラバスを確認する（６０分） 復習：シラバスを確認する（６０分）
2	手話と手話言語	予習：「手話」「手話言語」「聴覚障害」「難聴」「ろう」について調べる（６０分） 復習：「手話」「手話言語」「聴覚障害」「難聴」「ろう」についての確認（６０分）
3	指文字を覚える	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
4	地名を覚える	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
5	疑問詞表現を覚える	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
6	語彙を増やす （食べもの）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
7	語彙を増やす （地名、国名）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
8	語彙を増やす （スポーツ、趣味）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
9	語彙を増やす （学校生活）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
10	語彙を増やす （家族）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
11	語彙を増やす （働く、仕事）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
12	語彙を増やす （医療、福祉）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
13	語彙を増やす （旅行）	予習：インターネットの動画を見て表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
14	手話で自己紹介する	予習：手話で表現できるようにする（６０分） 復習：授業でしたことを練習する（６０分）
15	本講義の総括	予習：今まで整理したことを確認する（６０分） 復習：手話、手話言語について整理する（６０分）

《専門科目》

科目名	癒しのケア				
担当者氏名	安藤　美彌子、外園　裕美				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士選択】(外園)第8～15回：セラピーメイクの技法と関わりのための心理学、コミュニケーションをとる方法、信頼関係を作る方法、傾聴する技法など
(安藤)第1～7回：セラピューティック・ケアの理念に習熟し、福祉を目指す者に必要な、心に寄り添う為のツールとしての基本技術を習得する。また、施術をする上で必要な部位の解剖生理学・接遇・傾聴・感染への対処法・活動規範などを学ぶ。

《授業の到達目標》
(外園)高齢者や障害者の人へメイクとその関わりを使ってケアをしていく技術を学ぶ。メイクをする事で温かな気持ちが生まれ、高齢者や障害者の方々を笑顔にする力を身につける。
(安藤)本ケアの理念・効果・目的を正確に理解した上で施術に応用できる。施術時に、適切な接遇や傾聴を行える。お互いに施術し合う中で、正確な位置・圧・速度を確認しながら順番通りに手を動かす事ができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　(安藤)30%
レポート　(外園)50%
課題　(外園)20%　(安藤)30%
実技　(安藤)30%
授業の取組(外園)30%　(安藤)10%

《教科書》
(外園)配布資料あり
(安藤)セラピューティック・ケア(改訂版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
(安藤)実技・課題に於いて講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
(外園)授業態度や課題への取り組み方、レポートによる理解度をチェックします
(安藤)施術がもたらす効果の根拠がわかっている事笑顔で挨拶及び傾聴ができている事
施術のポイント、順番を覚えている事

《参考図書》
(外園)配布資料あり

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ,ｾﾗﾋﾟｭｰﾃｨｯｸｹｱ概論ﾈｯｸ&ｱﾝﾄﾞｼｮﾙﾀﾞｰ	・ﾃｷｽﾄP1～P７,P22～28 ・講義で学んだ内容を復習
2	施術上の留意点,施術者のﾃｸﾆｯｸ,ﾊﾝﾄﾞ&ｱｰﾑｹｱ	・ﾃｷｽﾄP33～P35,P8～P19 ・講義で学んだ内容を復習
3	傾聴･接遇･相乗効果,呼吸法,音楽,香り,実技	・講義で学んだ内容を復習 ・手技の練習
4	ﾚｯｸﾞｹｱ,DVD,基本手技と準備	・ﾃｷｽﾄP29～P32 ・手技の練習
5	理論総括,手技の確認	・講義で学んだ内容を復習 ・手技の練習
6	三手技の確認	・講義で学んだ内容を復習
7	まとめ	・講義で学んだ内容を復習
8	セラピーメイク概論	予習：講義要項を読んでおく（30分） 復習：授業の復習（30分）
9	福祉セラピーメイクの役割と効果活動	予習：授業の予習（30分） 復習：授業の復習（30分）
10	ラポールの構築	予習：授業の予習（30分） 復習：授業の復習（30分）
11	フェイスマッサージ	予習：授業の予習（30分） 復習：授業の復習（30分）
12	スキンケア技術	予習：授業の予習（30分） 復習：授業の復習（30分）
13	ナチュラルメイク技法①	予習：授業の予習（30分） 復習：授業の復習（30分）
14	ナチュラルメイク技法②	予習：授業の予習（30分） 復習：授業の復習（30分）
15	介護メイクとしての注意と実際	予習：授業の予習（30分） 復習：授業の復習（30分）

《専門科目》

科目名	介護の基礎III				
担当者氏名	古賀　さと子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【本学独自の選択科目】
国家試験によく出る語彙や文法を学び、国家試験に対応できる日本語力を身につけることを目指す。また、国家試験の問題に慣れ、専門知識の整理ができるよう、模擬問題を通して学習を進める。

《授業の到達目標》
①国家試験に対応できる日本語力（語彙・文法）を身につける。
②専門用語、専門知識の整理をする。
③国家試験の問題に慣れる。

《成績評価の方法》
筆記試験　50%　レポート　%
課題　20%　実技　%
授業の取組　30%
その他（　　）　%

《教科書》
介護の専門日本語　（凡人社）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は次回の授業内でフィードバックをする。

《成績評価基準》
・授業内で学んだ語彙や文法を理解し、覚えているか。
・学習した専門知識について整理できているか。
・事例問題や模擬問題の読解ができ、内容を理解できているか。

《参考図書》
見て覚える！介護福祉士国試ナビ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	国試によく出る語彙	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
2	国試によく出る文法①	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
3	国試によく出る文法②	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
4	感染症について	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
5	模擬問題（感染症）	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
6	関節リウマチについて	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
7	模擬問題（関節リウマチ）	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
8	パーキンソン病について	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
9	模擬問題（パーキンソン病）	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
10	糖尿病について	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
11	模擬問題（糖尿病）	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
12	脳血管疾患について	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
13	模擬問題（脳血管疾患）	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
14	過去問練習	プリントの予習（30分） 宿題（30分）
15	まとめ	プリントの予習（30分） 宿題（30分）

２ 年 後 期

《基礎科目》

科目名	社会福祉援助論				
担当者氏名	一山　幸子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】①福浜祭や介護の日イベントの行事を協力、準備、実施する。②「人間の尊厳と人権・福祉理念」人権思想・福祉理念の歴史的変遷を理解し、人間の尊厳・人権尊重及び権利擁護の考え方を理解する。③「自立の概念」人間にとっての自立の意味と本人主体の観点から尊厳の保持や自己決定の考え方を理解する。この授業は、社会福祉士、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

①文化祭や介護の日イベントの行事を協力、準備、実施することができる。②人間の尊厳と利用者主体について理解する。③人権・福祉の理念を理解する。④ノーマライゼーションについて理解する。⑤QOLを理解する。⑥自立の概念を理解する。⑦自立生活を理解する。⑧尊厳の保持と自立のあり方について理解する。

《成績評価の方法》

筆記試験　60　%　レポート　20　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　20　%　その他（　　）　%

《教科書》

見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022　中央法規
介護福祉士養成講座　障害の理解　中央法規
介護福祉士過去５年問題集2024年　成美堂

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポート課題は、授業で紹介したり添削をするなどしてフィードバックします。

《成績評価基準》

①文化祭や介護の日イベントの行事に協力、準備、実施できる②人間の多面的理解、利用者主体の考え方を説明できる③偏見、差別、ジェンダーについて説明できる④ノーマライゼーションの考え方を説明できる⑤人生の質、死の質（QOL,QOD）を説明できる⑥自立の考え方を説明できる⑦自立生活のニーズを説明できる⑧自己決定、自己選択、アドボカシーを説明できる

《参考図書》

介護福祉士養成講座１　人間の理解　中央法規
人間の尊厳と個人の尊重　学習の友社
介護福祉士完全合格過去＆模擬問題集2024年　翔泳社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	人間の尊厳と利用者主体：文化祭企画	予習：利用者主体の考え方と利用者主体の実現について予習する（2時間） 復習：利用者主体の考え方と利用者主体の実現について復習する（2時間）
2	人間の尊厳と利用者主体：文化祭企画	予習：人間の多面的理解について予習する（2時間） 復習：人間の多面的理解について復習する（2時間）
3	人権・福祉の理念	予習：人権思想の歴史的展開（偏見・差別・ジェンダー）を予習する（2時間） 復習：人権思想の歴史的展開（偏見・差別・ジェンダー）を復習する（2時間）
4	人権・福祉の理念	予習：福祉の理念の変遷（優生思想、保護思想）を予習する（2時間） 復習：福祉の理念の変遷（優生思想、保護思想）を復習する（2時間）
5	人権・福祉の理念	予習：IL運動、ソーシャルインクルージョンを予習する（2時間） 復習：IL運動、ソーシャルインクルージョンを復習する（2時間）
6	人権・福祉の理念	予習：人間の尊厳と自立の介護福祉士過去問題を予習する（2時間） 復習：人間の尊厳と自立の介護福祉士過去問題をやり直し復習する（2時間）
7	ノーマライゼーション	予習：ノーマライゼーションの考え方について予習する（2時間） 復習：ノーマライゼーションの考え方について復習する（2時間）
8	人間の尊厳と人権・福祉理念：QOL	予習：QOL（生命・生活・人生の質）の考え方を予習する（2時間） 復習：QOL（生命・生活・人生の質）の考え方を復習する（2時間）
9	人間の尊厳と人権・福祉理念：QOL	予習：生命倫理（遺伝子診断、死生観、QOD死の質）を予習する（2時間） 復習：生命倫理（遺伝子診断、死生観、QOD死の質）を復習する（2時間）
10	自立の概念	予習：福岡介護フェスタの企画について予習する（2時間） 復習：福岡介護フェスタについて振り返りまとめる（2時間）
11	自立の概念	予習：自立の意味と考え方について予習する（2時間） 復習：新しい自立の意味と考え方について復習し理解する（2時間）
12	自立生活	予習：自立生活におけるニーズについて予習する（2時間） 復習：自立生活におけるニーズについて復習する（2時間）
13	尊厳の保持と自立のあり方	予習：自己決定、自己選択、意思決定について予習する（2時間） 復習：自己決定、自己選択、意思決定について復習する（2時間）
14	尊厳の保持と自立のあり方	予習：インフォームドコンセント、アドボカシーについて予習する（2時間） 復習：インフォームドコンセント、アドボカシーについて復習する（2時間）
15	総括	予習：2年間の学習を総復習し要点をまとめる（2時間） 復習：2年間の学習を総復習し要点を理解し、まとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	チームマネジメント論				
担当者氏名	中野　幹子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護の実践をマネジメントできるようになるため、組織の運営管理や人材育成や管理方法を学ぶ。またリーダーシップやフォロワーシップなどのチームの運営の管理方法を学ぶことができるように、介護の現場の管理を行っている方を招き、実践的な理解ができるような授業内容とする。

《授業の到達目標》
1.チームにおけるコミュニケーションを理解できる。
2．組織の運営管理を説明できる。
3．人材育成・人材活用を理解できる。
4.リーダーシップとフォロアーシップを説明できる。

《成績評価の方法》
筆記試験　70%　レポート　20%
授業の取組　10%

《教科書》
参考図書とパワーポイントのプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
期末試験とレポート提出をフィードバックする。

《成績評価基準》
筆記試験、レポート提出、授業への取り組み姿勢を総合的に評価する。

《参考図書》
「現場で役立つ　介護・福祉リーダーのためのチームマネジメント」中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：チームの人間の関係性を理解する。（1時間） 復習：チームの関係性（1時間）
2	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：自分のチームをアセスメントする。（1時間） 復習：チームでのコミュニケーションの振り返り。（1時間）
3	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：人を育てるリーダーの条件とコミュニケーション術（1時間） 復習：リーダーとしてのコミュニケーション（1時間）
4	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：部下や同僚の学びを支えるコミュニケーション（1時間） 復習：部下や同僚の学びを支えるコミュニケーションの振り返り（1時間）
5	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：モチベーションに働きかけるコミュニケーション振り（1時間） 復習：モチベーションに働きかけるコミュニケーション返り（1時間）
6	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：対立や危機を乗り越え学び続けるチームをつくるコミュニケーション（1時間） 復習：チームをつくるコミュニケーション振りる。（1時間）
7	チームマネジメントの基礎	予習：チームマネジメント論の基礎（1時間） 復習：各種理論の振り返り（1時間）
8	チームマネジメントの基礎	予習：キャリア形成を支援する。（1時間） 復習：振り返り（1時間）
9	チームマネジメントの基礎	予習：自分にあったリーダーシップを身につける。（1時間） 復習：振り返り（1時間）
10	チームマネジメントの基礎	予習：意見が対立するチームを効果的にまとめる。（1時間） 復習：振り返り（1時間）
11	チームマネジメントの基礎	予習：業務を改善し、実践力を高める。（1時間） 復習：振り返り（1時間）
12	チームマネジメントの基礎	予習：　チームの視点で実践現場をスーパーバイズする。（1時間） 復習：振り返り（1時間）
13	チームマネジメントの基礎	予習：住民の力を呼び込み、地域で暮らす。（1時間） 復習：振り返り（1時間）
14	チームマネジメントの基礎	予習：住民の力を呼び込み、地域で暮らす。（1時間） 復習：振り返り（1時間）
15	まとめ	予習：総復習（1時間） 復習：振り返り（1時間）

《専門科目》

科目名	発達と老化の理解				
担当者氏名	城戸　由香里				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
授業のはじめに、前回の要点の小テストとその答え合わせを行う。当該授業では、予習で学生が熟読してきた教科書の内容にそって、配布プリントにて、要点、理解の確認を行う。さらに理解を深めるため、様々な例を用い、必要に応じて、生徒間でグループワークを行う。授業の最後に、授業開始時の小テストのプリントを提出する。

《授業の到達目標》
発達及び生涯発達の考え方を理解し、説明できる。発達にはどのようなパターンがあるか、またどのような要因が影響するかを具体的に述べることができる。発達理論について、ピアジェ、エリクソン、バルテス、ハヴィガーストそれぞれの概念が列記できる。高齢者の発達と発達課題について、例を挙げ説明できる。老化のともなう様々な心の変化とその適応のかたちについて、列挙できる。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%　レポート　10%
課題　なし　実技　なし
授業の取組　10%
その他（　　）　なし

《教科書》
介護福祉士養成講座12

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
15回目の総括・確認テスト前に、各回の小テストでの間違えを正し、学生の理解の不十分なところを補足説明する。

《成績評価基準》
毎回の小テスト点数、及び、授業への積極的参加（発表など）を評価する。15回目の総括の確認テストにて、各項目のキーワードやその意味の確認を行い（90点）、総合的な理解は記述式の回答により評価（10点）する。

《参考図書》
配布プリント

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	成長と発達の考え方	教科書p1～6を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
2	成長と発達の原則・法則	教科書p7～9を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
3	成長・発達に影響する要因	教科書p10～17を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
4	発達理論	教科書p20～23を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
5	発達段階と発達課題	教科書p24～34を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
6	身体的機能の成長と発達	教科書p35～46を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
7	心理的機能の発達	教科書p47～54を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
8	社会的機能の発達	教科書p55～68を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
9	老年期の定義	教科書p70～74を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
10	老化とは	教科書p75～79を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
11	老年期の発達課題	教科書p80～97を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
12	老化に伴う心理的変化と生活への影響	教科書p143～163を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
13	老化に伴う社会的変化と生活への影響	教科書p164～185を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
14	健康長寿に向けての健康	教科書p188～195を熟読（2時間）・次回の使用テストの準備（2時間）
15	総括・確認テスト	1～14の総復習（2時間）・テストの振り返り（2時間）

《専門科目》

科目名	介護の基本Ⅴ				
担当者氏名	折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護福祉の専門職として、能力や知識の向上を目指し、介護の基本の総括を行う。

《教科書》
適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
小テストは授業内で解説し、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》
①介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の持続性を支援するための仕組みを理解し、基本的な知識を習得することができる。
②介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての知識の統合化を図ることができる。

《成績評価基準》
筆記試験および小テストで介護の基本の基礎知識について6割以上解答できる。

《成績評価の方法》
筆記試験　70%
小テスト　20%
授業の取組　10%

《参考図書》
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
「介護福祉士国家試験模擬問題集」
ともに中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認。授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
2	総括（介護福祉士の基本となる理念）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
3	総括（介護福祉士の役割と機能）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
4	総括 （介護福祉士の倫理）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
5	総括 （自立に向けた介護）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
6	総括（介護を必要とする人の理解）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
7	総括（介護が必要な人の生活を支えるしくみ）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
8	総括（協働する他職種の機能と役割）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
9	総括（安全の確保とリスクマネジメント）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
10	総括 （介護従事者の安全）	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
11	まとめ	予習：課題の実施。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
12	まとめ	予習：課題の実施。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
13	まとめ	予習：課題の実施。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
14	まとめ	予習：課題の実施。（2時間） 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）
15	まとめ	予習：課題の実施。（2時間） 復習：講義全体を振り返り、講義内容を整理し、ノートにまとめる。（2時間）

《専門科目》

科目名	障害児支援論				
担当者氏名	後藤　宏				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】障がい及び障がい児や家族に視点を当て，介護福祉の基本理念や地域を基盤とした生活支援のしくみを理解し，高い倫理性を保持する介護福祉専門職としての能力や態度を養うことを目指す。特別支援教育の推進やインクルーシブ教育の構築に向けた社会の動き・支援対象者が望む支援過程の展開・地域連携や多職種協働による支援の実際等，福祉と教育の視点を関連付けて習得できるようにする。

《授業の到達目標》
・障がいや障がい児について，国内外の福祉制度や法令・定義等に基づく説明や学校教育上の分類ができる。
・障がい児に対する福祉，教育，人権・権利擁護・差別解消等に関する制度・政策の概要を述べることができる。
・障がい児や家族の生きづらさ・地域における課題等を挙げ，支援対象者が望む生活に必要な支援過程を示すことができる。
・ＩＣＦの視点に基づく模擬事例検討を行うことができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　60%　レポート　10%
課題　10%　実技　10%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

《教科書》
「なんでバイバイするとやか？」，ごとうひろし（文）／なすまさひこ（絵），石風社
併せて，関連資料及び視聴覚教材を活用する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
毎回振り返りシートに自己分析による達成度，質問・意見・感想等を記入・提出させ，その後の授業内容やフィードバックに活用する。提出レポート・課題等は，次回以降の授業時にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》
授業の到達目標に掲げる4項目について，定期試験結果による判定に加え，レポート・課題の提出内容，実技（演習を含む）及び授業への取組，授業後の振り返りシートによる自己分析等により，総合的に評価する。

《参考図書》
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」，中央法規出版株式会社
その他適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション（授業の概要・計画等）	予習：教科書を参照し，シラバスを確認しておくこと（30分） 復習：教科書・シラバス・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
2	障がい・障がい児の概念と分類①（法令・定義）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
3	障がい・障がい児の概念と分類②（教育的視点）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
4	障がい児に対する制度・政策①（国際的動向）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
5	障がい児に対する制度・政策②（福祉・人権等）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
6	障がい児に対する制度・政策③（特別支援教育）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
7	障がい児や家族の生活と支援①（発達と障がい）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
8	障がい児や家族の生活と支援②（知的障害）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
9	障がい児や家族の生活と支援③（発達障害）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
10	障がい児や家族の生活と支援④（視覚障害）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
11	障がい児や家族の生活と支援⑤（聴覚障害）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
12	障がい児や家族の生活と支援⑥（肢体不自由等）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
13	模擬事例による支援過程の展開①（ICFの視点）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
14	模擬事例による支援過程の展開②（多職種連携）	予習：教科書及び参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）
15	まとめ（授業全体の振り返りと学習内容の確認）	予習：教科書・配布資料・参考書等の関連部分を参照し，確認しておくこと（30分） 復習：教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う（30分）

《専門科目》

科目名	家政学演習				
担当者氏名	伊勢木　紀三子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
家庭生活の意義を学び、家族経営、即ち、家庭や施設における自己表現に繋がる家庭生活の共同、経営のありかたを考え、生活習慣病の知識等を身に着ける英sんの。
実習を通し、自立支援の視点から、食事作りの実践が出来る能力を身に着ける。2コマ連続で講義、演習を行う。

《授業の到達目標》
いかなる状況において、その人の自立を目指し、滞在能力を維持できるよう、介護者としての安全、適切な家事技術と知識について、学習することを目的とする。
介護者の立場に寄り添った支援が行えるよう、生活習慣病の知識や衛生管理、調理技術の体験を交えながら、現場で実践に役立てる能力を身に着けることを目的とする。

《成績評価の方法》
筆記試験　0%　レポート　40%
課題　0%　実技　40%
授業の取組　20%
その他（　0　）　%

《教科書》
なし
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
配布プリントは今後の資料となるよう、各自ファイルすること。
提出レポートの返却はしません。

《成績評価基準》
授業の取組、実技はうまくできなくても、取り組む姿勢をみます。レポートは、内容をすべて記入し、提出期日をまもってもらいます。この点も取組の評価対象に含まれます。

《参考図書》
介護福祉士養成講座6　生活支援技術Ⅰ（中央法規）
やわらかく、飲み込みやすい高齢者の食事メニュー（ナツメ社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講義・自立に向けた家事の介護（家事、調理）	高齢者介護の問題や実態等の報道に耳を傾ける（30分）配布プリントの再読（30分）
2	講義・自立に向けた家事の介護（洗濯）	高齢者介護の問題や実態等の報道に耳を傾ける（30分）配布プリントの再読（30分）
3	講義・自立に向けた家事の介護（掃除、整理）	栄養素、生活生活習慣病とは何か？ネット検索（30分）、配布プリントの再読（30分）
4	講義・自立に向けた家事の介護（お金の管理）	栄養素、生活生活習慣病とは何か？ネット検索（30分）、配布プリントの再読（30分）
5	講義・高齢者に向けた食事作りの考え方	高齢者や生活習慣病予防の食事について、ネット検索（30分）、配布プリントの再読（30分）
6	講義・生活習慣病の症例別、調理例	高齢者や生活習慣病予防の食事について、ネット検索（30分）、配布プリントの再読（30分）
7	実習・衛生管理①付着菌検査②食中毒注意点	衛生管理のプリント再読（30分）付着菌スケッチ（30分）
8	実習・高齢者の保健食実習①（計量のしかた）	高齢者の嗜好を意識する（30分）
9	実習・高齢者の保健食実習①（昼ごはん献立）	自宅での調理復習（90分）
10	実習・高齢者の保健食実習②（肉がメイン）	たんぱく質の必要性の意識、ネット検索（30分）
11	実習・高齢者の保健食実習②（肉がメイン）	自宅での調理復習（90分）
12	実習・高齢者の保健食実習③（魚がメイン）	魚の栄養素等の意識、ネット検索（30分）
13	実習・高齢者の保健食実習③（魚がメイン）	自宅での調理復習（90分）
14	実習・高齢者の保健食実習④（やわらか食）	咀嚼困難な利用者の意識（30分）
15	実習・高齢者の保健食実習④（間食・消毒）	自宅での調理復習（90分）

《専門科目》

科目名	生活支援技術（総論）				
担当者氏名	中野　幹子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護福祉士としての専門的知識が確実なものになるよう、問題を解きながら実力をつけていく。介護福祉士の国家試験の合格に対する意欲が維持でき、留学生にとって国家試験が苦手意識にならないように、専門用語の意味や使い方、社会福祉制度の内容について、丁寧にわかりやすく説明するよう心掛ける。

《授業の到達目標》
①これまでに学んだ授業内容をもとに重要なポイントを再確認し、より専門性の高い知識の習得を目指すことができる。
②
③即戦力となる介護福祉士を目指して、根拠に基づいた知識を身につけることができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%
授業の取組　20%

《教科書》
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業での課題、まとめのミニテストは確認後、必要に応じて授業時に解説する。

《成績評価基準》
まとめのテストや授業への取り組みにより評価する。

《参考図書》
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」中央法規出版
「介護福祉士の過去問題集」TAC出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	社会の理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
2	社会の理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
3	社会の理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
4	こころとからだ	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
5	こころとからだ	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
6	こころとからだ	予習：１～５までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
7	生活支援技術	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
8	生活支援技術	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
9	生活支援技術	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
10	介護の領域	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
11	介護の領域	予習：７～１０までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
12	介護の領域	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
13	演習問題	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
14	演習問題	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
15	総括	予習：予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	介護過程ⅡＢ				
担当者氏名	一山　幸子、川井　小百合、折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
介護実習の集大成である介護過程報告会での発表を行う。実習（Ⅰ）-3及び(Ⅱ)での担当利用者の介護過程(「利用者像」「アセスメント」「介護計画」)を完成させる。報告会に向けて個別指導を受けながら準備を進める。
事例研究・プレゼンテーションの経験となる良い機会であり、自分を高める姿勢で修正を重ねて仕上げていく。

《授業の到達目標》
①実習（Ⅰ）-3及び実習(Ⅱ)で担当した利用者の情報を整理して「利用者像」に記述できる
②利用者の解決すべき課題を明確にして、解釈・関連づけ・統合化した内容を「アセスメント」に記述できる
③利用者の望む生活を目指した目標、個別性に応じた具体的な介護方法、実施・評価・考察を「介護計画」に記述できる

《成績評価の方法》
課題　80%
授業の取り組み　20%

《教科書》
必要に応じてプリントを配布します。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題（介護過程報告会の発表資料）は、実習巡回教員を中心に個別指導によってフィードバックをします。

《成績評価基準》
介護過程報告会に向けての記述指導における授業の取り組み姿勢、報告会での発表内容・態度について総合的に評価する。

《参考図書》
介護福祉士養成講座「介護過程」中央法規出版
「ICFを活用した介護過程と個別支援計画　高齢者・障害者の意思決定支援と本人中心型の計画づくり」かもがわ出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	知識と技術の統合：実習(Ⅱ)事後指導	予習：実習(Ⅱ)の記録物を提出できるように準備する(30分) 復習：記録物の内容について再確認する(30分)
2	知識と技術の統合：実習(Ⅱ)事後指導	予習：実習(Ⅱ)の記録物を提出できるように準備する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
3	介護実践の科学的探究：記述指導	予習：実習(Ⅱ)の記録物を見直し、修正点を確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
4	介護実践の科学的探究：記述指導	予習：実習(Ⅱ)の記録物を見直し、修正点を確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
5	実習(Ⅱ)介護過程の実践的展開：記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
6	実習(Ⅱ)介護過程の実践的展開：記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
7	実習(Ⅱ)介護過程とチームアプローチ	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
8	実習(Ⅱ)介護過程とチームアプローチ	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
9	実習(Ⅱ)介護過程の事例研究・記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
10	実習(Ⅱ)介護過程の事例研究・記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
11	介護過程の展開の意義：介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
12	介護過程の展開の意義：介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
13	介護過程の展開：介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：発表内容・資料を振り返る(30分)
14	介護過程の展開：介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：発表内容・資料を振り返る(30分)
15	総括介護過程の展開：介護過程報告会総括	予習：発表内容・資料を振り返る(30分) 復習：まとめの内容を再確認する(30分)

《専門科目》

科目名	医療的ケアＣ				
担当者氏名	中野　幹子、小車　淑子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内の痰の吸引について、4項目の演習を5回ずつ実施したうえで、実技試験を行う。

《授業の到達目標》
①痰の吸引に必要な器具の取り扱いと清潔操作を理解し、実施することができる。
②痰の吸引について、必要物品の準備・実施・観察・報告・片付けが適確に実施できる。
③痰の吸引を受ける要介護者や家族の心理を考え、コミュニケーションをとることができる。

《成績評価の方法》
実技試験　50点中60%で合格
授業の取組（服装・忘れ物・私語・携帯等）は減点

《教科書》
教科書は使用せず、配布資料を確認しながら、授業を行う。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
事前に資料を配布し、自主学習できるよう指導する。授業時、演習しながら解説する。演習は各項目５回行えるよう指示し、教員がデモンストレーションすることで、実際の演習での習得力を上げる。

《成績評価基準》
実技試験の受験資格は、口腔・鼻腔内吸引（通常手順・非侵襲的人工呼吸器）、気管カニューレ内吸引（通常手順・人工呼吸器）の4項目について、評価表に沿い5回ずつの演習を実施し、全項目の評価がアとなることを必要とする。
実技試験が50点中60%以上に達していることで、実技試験は合格とする。

《参考図書》
医療的ケア 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修 ＭＩＮＥＲＶＡ福祉資格テキスト／竹宮敏子【監修】，岡本あゆみ，久代和加子，田代和

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	①オリエンテーション②痰の吸引手順の説明	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
2	②③鼻腔・口腔内吸引必要物品・手順留意点実施	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
3	④⑤鼻腔・口腔内吸引（通常手順）観察実施	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
4	⑥⑦鼻腔・口腔内吸引（非侵襲人工呼吸器）	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
5	⑧⑨鼻腔・口腔内吸引（非侵襲人工呼吸器）	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
6	⑩⑪清潔操作・気管内吸引（通常手順）	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
7	⑫⑬気管内吸引（通常・人工呼吸器）	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
8	⑭⑮気管内吸引（人工呼吸器）	事前配布プリント（１時間）・配布プリント（1時間）
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《専門科目》

科目名	医療的ケアＣ				
担当者氏名	中野　幹子、小車　淑子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
≪講義部分≫
医療的ケアを安全・適切に実施するために、必要となる医学関連領域の知識を学ぶ。

《教科書》
①介護福祉士過去5年問題集　成美堂出版　2024年版
　令和5年から平成31年まで
②資料プリントを配布し、解説する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
小テストやワークを実施し、解説する

《授業の到達目標》
≪講義部分≫
①人体の構造と働きが理解できる
②発達や老化・高齢者に多い疾病が理解できる
③医療的ケア実施の基礎について理解できる
④喀痰吸引の基礎知識・手順について理解できる
⑤経管栄養の基礎知識・手順について理解できる

《成績評価基準》
≪講義部分≫
筆記試験を実施し、授業の取り組みを勘案し総合評価する

《成績評価の方法》
≪講義部分≫
筆記試験　80%
授業への取組（忘れ物・私語・携帯等）20%
≪医療的ケアC≫
筆記50%、実技50%

《参考図書》
中央法規介護福祉士国家試験過去問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション こころのしくみ	介護福祉士過去5年問題集（こころとからだのしくみ2時間）・配布プリント（1時間）
2	医学関連領域復習 こころのしくみ	介護福祉士過去5年問題集（こころとからだのしくみ2時間）・配布プリント（1時間）
3	医学関連領域復習 人体構造と働き	介護福祉士過去5年問題集（こころとからだのしくみ2時間）・配布プリント（1時間）
4	医学関連領域復習 人体構造と働き	介護福祉士過去5年問題集（こころとからだのしくみ2時間）・配布プリント（1時間）
5	医学関連領域復習 人体構造と働き	介護福祉士過去5年問題集（こころとからだのしくみ2時間）・配布プリント（1時間）
6	医学関連領域復習 人体構造と働き	介護福祉士過去5年問題集（こころとからだのしくみ2時間）・配布プリント（1時間）
7	医学関連領域復習 発達と老化	介護福祉士過去5年問題集（発達と老化の理解　2時間）・配布プリント（1時間）
8	医学関連領域復習 高齢者に多い疾病	介護福祉士過去5年問題集（発達と老化の理解　2時間）・配布プリント（1時間）
9	医学関連領域復習 高齢者に多い疾病	介護福祉士過去5年問題集（発達と老化の理解　2時間）・配布プリント（1時間）
10	医学関連領域復習 高齢者に多い疾病	介護福祉士過去5年問題集（発達と老化の理解　2時間）・配布プリント（1時間）
11	医学関連領域復習 高齢者に多い疾病	介護福祉士過去5年問題集（発達と老化の理解　2時間）・配布プリント（1時間）
12	医療的ケア実施の基礎	介護福祉士過去5年問題集（医療的ケア　2時間）・配布プリント（1時間）
13	医療的ケア実施の基礎 喀痰吸引	介護福祉士過去5年問題集（医療的ケア　2時間）・配布プリント（1時間）
14	医療的ケア実施の基礎 経管栄養	介護福祉士過去5年問題集（医療的ケア　2時間）・配布プリント（1時間）
15	まとめ	介護福祉士過去5年問題集（2時間）・配布プリント（1時間）

《専門科目》

科目名	国家試験特講Ａ				
担当者氏名	一山　幸子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身についている。				

《授業の概要》

【本学独自の選択科目】
①障害の理解、②人間の尊厳と自立、③人間関係とコミュニケーションの３つの分野について過去問題を解き解説する。予習・復習をしっかりと行い、本番と同じ気持ちで真剣に問題を解く。そして授業中の解説をよく聞いて理解しながら繰り返し問題を解き、間違えた問題を見直し、確実に正答できるようにしていく。

《授業の到達目標》

介護福祉士国家試験に向けて、①障害の理解、②人間の尊厳と自立、③人間関係とコミュニケーションの３つの分野について過去問題を解き、過去３年分の介護福祉士国家試験問題を７割以上正答することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験	80%	レポート	%
課題	%	実技	%
授業の取組	20%	その他（　　）	%

《教科書》

詳解2024年版　介護福祉士　過去５年問題集　成美堂出版
見て覚える！介護福祉士国家試験ナビ2023

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

介護福祉士国家試験の過去問題を解いた後に解説をしますので、自己採点・自己添削をして、間違えた所をしっかりと復習していきましょう。そして３回以上同じ問題を解いて、７割以上正答できるようになりましょう。

《成績評価基準》

①障害の理解、②人間の尊厳と自立、③人間関係とコミュニケーションの領域について、過去問題を解き、解説を聞いて理解し、過去３年分の介護福祉士国家試験問題を正答できるようになる。

《参考図書》

介護福祉士完全合格過去＆模擬問題集2024年版、翔泳社
みんなが欲しかった!介護福祉士の過去問題集2024年版、TAC
介護福祉士国家試験模擬問題集2024、中央法規

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	障害の理解	予習：第33回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第33回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
2	障害の理解	予習：第34回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第34回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
3	障害の理解	予習：第35回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第35回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
4	障害の理解	予習：第33回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第33回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
5	障害の理解	予習：第34回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第34回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
6	障害の理解	予習：第35回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第35回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
7	人間の尊厳と自立	予習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間の尊厳）を解く・調べる（1時間） 復習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間の尊厳）誤答問題やり直し（1時間）
8	人間の尊厳と自立	予習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間の尊厳）を解く・調べる（1時間） 復習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間の尊厳）誤答問題やり直し（1時間）
9	人間関係とコミュニケーション	予習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間関係）を解く・調べる（1時間） 復習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間関係）誤答問題やり直し（1時間）
10	人間関係とコミュニケーション	予習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間関係）を解く・調べる（1時間） 復習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間関係）誤答問題やり直し（1時間）
11	人間関係とコミュニケーション	予習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間関係）を解く・調べる（1時間） 復習：第33～35回介護福祉士国家試験問題（人間関係）誤答問題やり直し（1時間）
12	障害の理解：疾病や障害	予習：第33回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第33回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
13	障害の理解：疾病や障害	予習：第34回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第34回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
14	障害の理解：疾病や障害	予習：第35回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）を解く・調べる（1時間） 復習：第35回介護福祉士国家試験問題（障害の理解）誤答問題のやり直し（1時間）
15	まとめ	予習：これまでに行った1週～14週の総復習をする（1時間） 復習：これまでに行った1週～14週の総復習をして覚える（1時間）

《専門科目》

科目名	国家試験特講Ｂ				
担当者氏名	田中　優子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身についている。				

《授業の概要》
【本学独自の選択科目】

介護福祉士国家試験過去問題集を解説することで、国家試験のイメージをつかむことができるよう指導する。

《教科書》
介護福祉士過去問題
介護福祉士国家試験模擬問題集

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
毎回、問題を解き問題の意図やそれに関する他領域との関係性について説明および解説を行う。

《授業の到達目標》
介護福祉士国家試験対策を行い国家試験に合格できる。

《成績評価基準》
国家試験問題に出てくる介護・福祉の制度や専門用語が理解できたか。
五者択一問題の解き方が理解できたか。
練習問題や定期試験で60%の正解率ができたか。

《成績評価の方法》
筆記試験　80%
授業への取り組み20%

《参考図書》
見て覚える！介護福祉士国試ナビ2024

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	こころとからだのしくみ ：練習問題①	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
2	こころとからだのしくみ ：練習問題②	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
3	発達と老化の理解 練習問題①	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
4	発達と老化の理解 練習問題②	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
5	認知症の理解 練習問題①	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
6	認知症の理解 練習問題②	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
7	障害の理解 練習問題①	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
8	障害の理解 練習問題②	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：練習問題をもう一度解く（60分）
9	介護福祉士国家試験 予想問題①	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：予想問題①をもう一度解く（60分）
10	介護福祉士国家試験 予想問題①の解説	予習：予想問題①に目を通す（30分） 復習：問題の正解の説明や解説をまとめる（60分）
11	介護福祉士国家試験 予想問題②	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：予想問題②をもう一度解く（60分）
12	介護福祉士国家試験 予想問題②の解説	予習：予想問題②に目を通す（30分） 復習：問題の正解の説明や解説をまとめる（60分）
13	介護福祉士国家試験 予想問題③	予習：国家試験問題に目を通す（30分） 復習：予想問題③をもう一度解く（60分）
14	介護福祉士国家試験 予想問題③の解説	予習：予想問題③に目を通す（30分） 復習：問題の正解の説明や解説をまとめる（60分）
15	介護福祉士国家試験 まとめ	予習：これまでの練習問題や予想問題に目を通す（30分） 復習：練習問題や予想問題をもう一度解く（60分）

《専門科目》

科目名	障害児・者スポーツ論				
担当者氏名	高木　富士男				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

障がい（身体・知的・精神）の原因と病態を知り、障がい特性に合わせた競技ルールの変更点と用具の工夫について学ぶ。また、障がいの特性を理解し、障がいに配慮した指導方法を考えていく。

障がいのある人とのコミュニケーションでは、配慮すべきポイントや具体的な聞き方や伝え方の工夫について学ぶ。

《授業の到達目標》

スポーツのインテグリティについて理解を深め、スポーツに関わる者のあるべき姿、行動ができ、障がい（身体・知的・精神）の特性、スポーツ指導上の留意点について説明できる。また、障がいの特性に応じたルール、道具、環境づくりが行えるようになる、障がいに配慮したスポーツの支援または指導が行えるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験　70%
レポート　20%
授業の取組　10%

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

筆記試験のフィードバックとして、講評及び解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

筆記試験（70%）、レポート（20%）、受講態度（10%）により評価する。

《参考図書》

障がい者のある人のスポーツ指導教本（初級・中級）　2020年改訂カリキュラム対応（公財）日本障がい者スポーツ協会編／ぎょうせい

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	障がい者とスポーツ	興味のある障がい者スポーツについて調べる（2時間） ルール、用具等の整理（2時間）
2	障がい者スポーツに関する諸施策	日本パラスポーツ協会HP を検索し歴史と現状を調べる（2時間） 歴史と現状の整理（2時間）
3	福岡市障がい者スポーツ大会ボランティア	福岡市障がい者スポーツ協会HP を検索し事業内容を調べる（2時間） 福岡市の事業内容の整理（2時間）
4	障がい者スポーツの意義と理念	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
5	インテグリティと指導者に求められる資質	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
6	安全管理	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
7	障がい各論 身体障がい	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
8	障がい各論 身体障がい	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
9	障がい各論 知的障がい	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
10	障がい各論 精神障がい	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
11	コミュニケーションスキルの基礎	配布資料の熟読（2時間） 配布資料の整理（2時間）
12	全国障害者スポーツ大会の概要	日本パラスポーツ協会HPを検索し全国障害者スポーツ大会について調べる（2時間） 全国障害者スポーツ大会概要の整理（2時間）
13	障がい者スポーツ推進の取り組み①	日本パラスポーツ協会HP を検索しスポーツ推進について調べよう（2時間） 日本パラスポーツ協会のスポーツ推進の整理（2時間
14	障がい者スポーツ推進の取り組み②	福岡県障がい者スポーツ協会HP を検索しスポーツ推進について調べる（2時間） 福岡県障がい者スポーツ協会のスポーツ推進の整理（2時間）
15	まとめ	指導者像について考える（2時間） 指導者像をまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	障害児・者スポーツ演習				
担当者氏名	東嵩西　謡平				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》
【介護福祉士選択】
障がい児・者及び高齢者が実際に行っているスポーツを体験し、各種目の特性と運動効果について理解を深める。また、実際のスポーツ場面において各障がいに応じて工夫している点について考える。視覚障がい者のスポーツはフロアバレーボール、肢体不自由者のスポーツは車いすバスケットボール、重度障がい者のスポーツはボッチャなどを行う。

《授業の到達目標》
１．障がい者スポーツを楽しむことができる。
２．障がい者スポーツのサポートができる。
３．障がい者スポーツをサポートするうえで、障がい特性に応じた留意点が説明できる。

《成績評価の方法》
実技　55%
授業の取組　45%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
１コマずつ講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
障がい者スポーツを楽しみながら授業への参加（授業の取組）
障がい者スポーツのサポート及び特性に応じた説明（実技）

《参考図書》
障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）／（公財）日本障がい者スポーツ協会／［編］ぎょうせい

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：車いすの介助・視覚障がいの介助（30分） 復習：全国障害者スポーツ大会について（30分）
2	視覚障がい者のスポーツ	予習：サウンドテーブルテニスとは（30分） 復習：パラリンピックの競技について（30分）
3	視覚障がい者のスポーツ	予習：ゴールボールとは（30分） 復習：ルールの理解（30分）
4	視覚障がい者のスポーツ	予習：フロアバレーボールとは（30分） 復習：ポジションの理解（30分）
5	視覚障がい者のスポーツ	予習：前回の整理（30分） 復習：ポジションの理解（30分）
6	視覚障がい者のスポーツ	予習：前回の整理（30分） 復習：視覚障がいの特徴
7	肢体不自由者のスポーツ	予習：シッティングバレーボールとは（30分） 復習：ルールの理解（30分）
8	肢体不自由者のスポーツ	予習：卓球バレーとは（30分） 復習：ルールの理解（30分）
9	肢体不自由者のスポーツ	予習：車いすバスケットとは（30分） 復習：ルールの理解（30分）
10	重度障がい者のスポーツ	予習：フライングディスクとは（30分） 復習：ルールの理解（30分）
11	重度障がい者のスポーツ	予習：ボッチャとは（30分） 復習：ルールの理解（30分）
12	知的障がい者のスポーツ	予習：フットソフトボール（30分） 復習：ルールの理解（30分）
13	障がい者スポーツの考案	予習：ふうせんバレーボールとは（30分） 復習：スポーツの考案について（30分）
14	障がい者スポーツの考案	予習：前回の整理（30分） 復習：スポーツの考案について（30分）
15	障がい者スポーツの考案	予習：前回の整理（30分） 復習：障がい者スポーツを考える（30分）

《専門科目》

科目名	園芸福祉				
担当者氏名	山本　俊光				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》
授業形態は講義を基本とするが、園芸福祉の実際は演習を通じて行う。栽培を基本として植物を介して環境、教育、健康福祉まちづくりに関わっていくノウハウを学ぶ。

《教科書》
『園芸福祉入門』進士五十八・吉長成恭監修日本園芸福祉普及協会編

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
小試験、レポートなどは採点し返却する。

《授業の到達目標》
植物を介した活動が人の心身に与える影響について理解する。園芸福祉士合格レベルまで理解を深める。
園芸福祉士を目指す意義を理解する。

《成績評価基準》
レポート、課題の取り組む意欲と態度、提出状況
授業内容を網羅した筆記試験が６割以上であること

《成績評価の方法》
筆記試験80%　レポート%
課題%　実技　%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《参考図書》
『園芸療法を探る』2000松尾英輔グリーン情報
『園芸社会学』1998ダイアン・レルフマルモ出版社株式会社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	教科書の序章を読んでおく 話を振り返りながら大事なところに線を引く
2	車椅子体験	体験したことを振り返る 用具の名称、使い方を整理する
3	第１章　園芸福祉の活動とは（１）	教科書p27から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
4	第１章　園芸福祉の活動とは（２）	教科書p41から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
5	第２章　活動を地域のなかに普及する（１）	教科書p63から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
6	第２章　活動を地域のなかに普及する（２）	教科書p80から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
7	第３章　コミュニティづくりに生かす（１）	教科書p93から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
8	第３章　コミュニティづくりに生かす（２）	教科書p118から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
9	第４章　植物をよく知り活用しよう（１）	教科書p133から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
10	第４章　植物をよく知り活用しよう（２）	教科書p159から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
11	第５章　誰もが楽しめるプログラム（１）	教科書p179から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
12	第５章　誰もが楽しめるプログラム（２）	教科書p198から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
13	作業分析の考え方と実践	園芸作業についてわかりやすく伝えるための方法について学ぶ ノートに整理して実践できる様にしておく
14	園芸福祉の実践例	実践例を見て自分の考えをまとめる
15	授業のまとめ	園芸福祉とは何かについて正しく理解し言葉で表現できるようにまとめる

２ 年 通 年

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野　幹子、一山　幸子、川井　小百合、折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》
【介護福祉士必修】
・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニュケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。
・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《授業の到達目標》
・実習施設の概要を学ぶことができる。
・利用者に安心されるようなコミュニュケーションや利用者の障害や心身の状況に応じ、安全な生活支援技術を学ぶ。
・専門職のおける役割の理解や他職種連携、チームケアについて体験的に学び、チームマネジメント力を養う。
・地域での生活を支える施設、事業所の役割を理解し、地域における生活支援を実践的に学ぶ。

《成績評価の方法》
実習の取り組み、実習課題（提出・発表）を総合的に評価する。

《教科書》
本学作成の「実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《成績評価基準》
本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習（Ⅰ）－3　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習（Ⅰ）－3　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習（Ⅰ）－3　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習（Ⅰ）－3　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習（Ⅰ）－3　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習（Ⅰ）－3　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習（Ⅰ）－3　地域における生活支援の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習（Ⅰ）－3 他職種協働の実践	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野　幹子、一山　幸子、川井　小百合、折居　明日香、田邉　伸一、山本　恭大、古賀　啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニュケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。

・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《授業の到達目標》

・利用者の能力の活用や発揮できるよう、自立を支援するための生活支援技術を習得する。

・受け持ち利用者に関する情報を収集し、生活上の問題となる状況に気づき、根拠に基づいた理由や生活課題に必要な介護を考え、記述することができる。

・利用者にとって望ましい目標を考え、具体的な介護方法を立案し実施する。また、評価、考察をすることができる。

《成績評価の方法》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《教科書》

本学作成の「実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《成績評価基準》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習（Ⅱ） 介護過程の実践的展開	予習：（本日の）実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。